三戸町高齢者福祉計画
第８期介護保険事業計画

令和３年３月
青森県三戸町

は　じ　め　に

平成１２年（２０００年）４月にスタートした介護保険制度は、その創設から２０年が経過し、介護が必要な高齢者の方々を社会全体で支える制度として定着しております。

制度開始時に２５．８％であった町の高齢化率は、少子高齢化等人口構造の変化を要因として、令和３年（２０２１年）２月末現在４１．５％と約１６％増加しており、今後も増加が見込まれております。また、近年は、単身又は夫婦のみの高齢者世帯や認知症高齢者が増加傾向にあるなど、高齢者を取り巻く状況にも変化が見られます。

このような状況を踏まえ、町では、第７期計画に引き続き「高齢者が住み慣れた地域で自分らしく暮らすことができるまちづくり」を基本理念に掲げ、高齢者を地域で支える社会の形成を目指すとともに、必要なサービスを適切に提供するため、令和３年度（２０２１年度）から令和５年度（２０２３年度）までの３年間を計画期間とする本計画を策定いたしました。

今後、ますます多様化・複雑化が進む介護ニーズに対応した施策を実施するとともに、制度への信頼感を高め、将来にわたり持続可能な介護保険事業運営が継続できるよう、引き続き保険給付の適正化を進めてまいります。

また、人と人、人と社会がつながり、一人ひとりが生きがいと役割を持ち、助け合いながら暮らしていくことのできる地域共生社会の実現に向け、包括的な支援体制の構築を目指してまいりたいと考えております。

結びに、本計画の策定にあたり、幅広い見地から熱心なご審議をいただきました介護保険事業計画等推進協議会委員の皆様をはじめ、介護予防・日常生活圏域ニーズ調査及び在宅介護実態調査等にご協力いただいた多くの町民の皆様や関係者の皆様に、心からお礼申し上げます。

令和３年３月

三戸町長　　松　尾　和　彦

目　　次

第１章　総　　論

１　計画策定の背景 ---------- 1
２　計画の位置付け ---------- 2
３　計画の期間 ---------- 2
４　計画の策定経緯と推進体制 ---------- 3

第２章　高齢者を取り巻く現状と将来推計

１　高齢者を取り巻く現状 ---------- 5
２　要介護・要支援認定者数の推移及び見込み ---------- 7
３　介護保険サービスの利用状況 ---------- 8

第３章　基本理念・基本方針

１　基本理念 ---------- 9
２　基本方針 ---------- 9

第４章　施策の展開

１　地域包括ケアシステムの推進 ---------- １１
２　高齢者福祉サービスの充実 ---------- １４
３　高齢者の健康・生きがいづくりの推進 ---------- １９
４　認知症施策の推進 ---------- ２１
５　介護サービス基盤の充実 ---------- ２４

第５章　介護サービス見込量

１　居宅（介護予防）サービス ---------- ２９
２　地域密着型（介護予防）サービス ---------- ３２
３　施設介護サービス ---------- ３３

第６章　介護保険総事業費の見込み

１　標準給付費 ---------- ３５
２　地域支援事業費 ---------- ３７
３　総事業費 ---------- ３８

第７章　介護保険料の見込み

１　介護保険の財源 ---------- ３９
２　第１号被保険者の保険料 ---------- ４０

第８章　２０４０年までの中長期的な推計

１　介護サービス見込量の推計 ---------- ４１
２　総事業費の推計 ---------- ４２
３　保険料基準月額の推計 ---------- ４２

資料編

１　三戸町介護保険事業計画等推進協議会委員名簿 ---------- ４３
２　介護保険事業計画等推進協議会の開催状況 ---------- ４４
３　第８期介護保険事業計画・老人福祉計画の諮問に対する答申内容 --- ４５
４　介護予防・日常生活圏域ニーズ調査について ---------- ４６
５　在宅介護実態調査について ---------- ９０

第１章　総　　論

１　計画策定の背景

介護が必要な状態となっても安心して生活が送れるよう、介護を要する高齢者等を社会全体で支えることを目的として平成１２年度（２０００年度）に開始した介護保険制度は、地域に寄り添った身近な制度として広く浸透してきました。一方で、高齢化の進行による要介護者の増加とそれに伴う介護給付費の増加、一人暮らしの高齢者や高齢者のみの世帯の増加、認知症高齢者の増加など、様々な課題が顕在化してきています。

この間、我が国では、世界でも類を見ない早さで高齢化が進行しており、令和７年（２０２５年）には、いわゆる団塊の世代が７５歳以上の高齢者となり、３人に１人が６５歳以上、５人に１人が７５歳以上になると予測されています。

本町においても少子高齢化の進行から高齢化率は年々上昇しており、平成１２年（２０００年）に２５．８％であった高齢化率は、令和３年（２０２１年）２月には４１．５％となり、住民の２．５人に１人が６５歳以上となっています。さらに、団塊の世代が７５歳以上となる令和７年（２０２５年）には４６．９％に達する見込であり、今後も更なる高齢化の進行が予測されます。

こうした中、地域共生社会の実現のための社会福祉法等の一部を改正する法律（令和２年法律第５２号）が公布され、地域住民の複雑化・複合化した支援ニーズに対応する包括的な支援体制の構築等とあわせて、地域包括ケアステムの推進や地域づくり等に一体的に取り組むことで、地域共生社会の実現を図っていくことが求められています。

本町においても、地域包括ケアシステムの充実を図るとともに、２０４０年（令和２２年）を見据えた中長期的な視野に立って、地域の自主性や主体性に基づき、高齢者福祉並びに介護保険事業の基本的な目標を定め、その方向性を示し、必要な施策とその取組みを総合的に推進するため、本計画を策定します。

２　計画の位置付け

本計画は、老人福祉法第２０条の８第１項の規定に基づく「老人福祉計画」及び介護保険法第１１７条第１項の規定に基づく「介護保険事業計画」を一体的に策定するものです。

高齢者のための総合的な計画とする観点から、高齢者の生活を支える高齢者福祉サービスや介護保険事業を包括的に実施するため、介護を必要とする高齢者のみでなく、本町のすべての高齢者を対象とします。

【関係法令（抜粋）】

◆　老人福祉法

（市町村老人福祉計画）

第２０条の８　市町村は、老人居宅生活支援事業及び老人福祉施設による事業（以下「老人福祉事業」という。）の供給体制の確保に関する計画（以下「市町村老人福祉計画」という。）を定めるものとする。

２～６　略

７　市町村老人福祉計画は、介護保険法第１１７条第１項に規定する市町村介護保険事業計画と一体のものとして作成されなければならない。

◆　介護保険法

（市町村介護保険事業計画）

第１１７条　市町村は、基本指針に即して、３年を１期とする当該市町村が行う介護保険事業に係る保険給付の円滑な実施に関する計画（以下「市町村介護保険事業計画」という。）を定めるものとする。

２～５　略

６　市町村介護保険事業計画は、老人福祉法第２０条の８第１項に規定する市町村老人福祉計画と一体のものとして作成されなければならない。

３　計画の期間

本計画の期間は、令和３年度（２０２１年度）から令和５年度（２０２３年度）までの３年間とし、計画の最終年度にあたる令和５年度には、本計画を見直し、次期計画の策定を行います。

なお、本計画においては、いわゆる団塊の世代が７５歳以上となる令和７年（２０２５年）と、団塊ジュニア世代が６５歳以上となる令和２２年（２０４０年）を見据え、中長期的な視点で計画を策定します。

４　計画の策定経緯と推進体制

（１）策定経緯

本計画の策定に当たっては、次の①から⑥までについて、被保険者代表や保健・福祉・医療関係者などからなる「三戸町介護保険事業計画等推進協議会」に対し意見を求め、得られた意見とこれまでの介護保険給付実績などを参考にしながら検討を行いました。

①　総人口及び被保険者数の推計について
②　要介護認定者数の推計について
③　介護保険サービス見込量について
④　第１号被保険者介護保険料の段階について
⑤　第１号被保険者介護保険料の額について
⑥　施設の整備について

また、町内に在住する高齢者を対象に、アンケート方式による「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査」及び「在宅介護実態調査」を実施し、高齢者の実態を把握しました。（資料として巻末に掲載しております。）

（２）推進体制

本計画の推進にあたっては、「三戸町介護保険事業計画等推進協議会」、「三戸町地域包括支援センター運営協議会」及び「三戸町地域密着型サービス運営委員会」を推進組織と位置付け、サービスの種類ごとの利用状況等、本計画の実施状況や進捗状況について、評価・分析を行い、高齢者を取り巻く状況の変化等に応じて必要な対策を講じるものとします。

第２章　高齢者を取り巻く現状と将来推計

１　高齢者を取り巻く現状

（１）　高齢化率の推移

県内の市町村別高齢化率比較（令和２年２月１日現在）において、本町は県平均の３２．８％を７．９ポイント上回る４０．７％で、４０市町村のうち１１番目に高い高齢化率となっています。

また、直近の総人口９，６５１人（令和３年２月末現在）のうち、６５歳以上の高齢者人口は４，００６人で、高齢化率４１．５％と、平成３０年２月末現在の３８．７％に比べ、約３年の間に２．８％上昇しております。

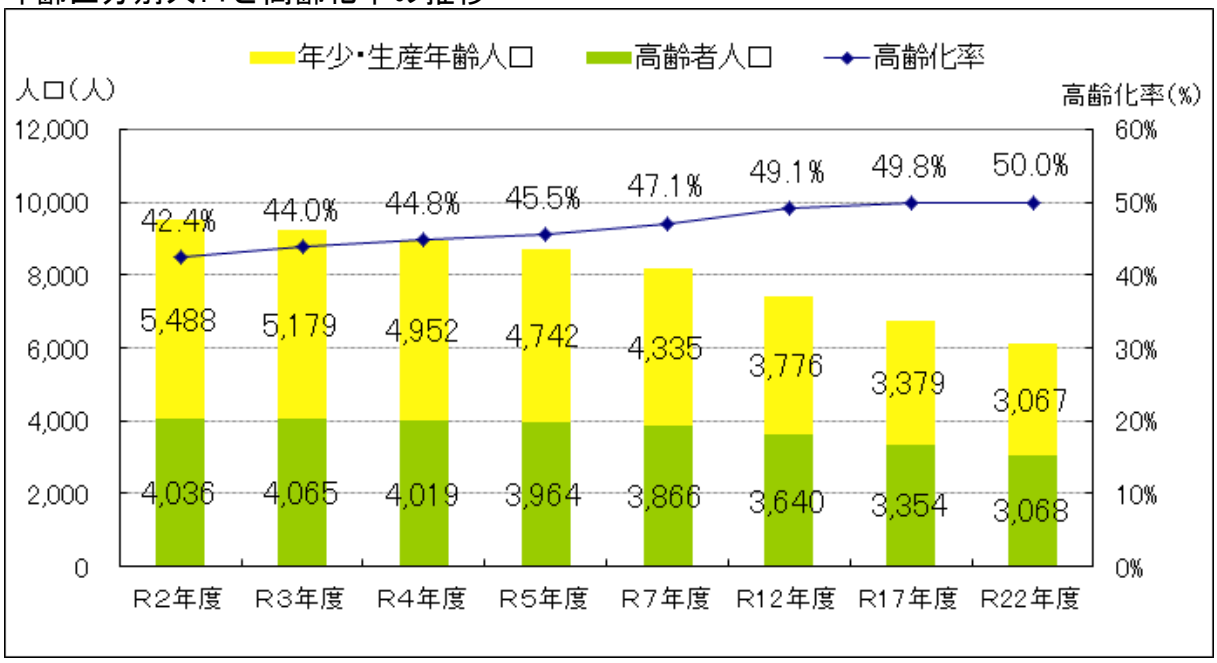
今後も高齢化が進み、令和２２年度には５０％に達するものと推測されます。

（単位：人）

区分	第７期	第　８　期			2025年	2030年	2035年	2040年
	Ｒ２	Ｒ３	Ｒ４	Ｒ５	Ｒ７	Ｒ１２	Ｒ１７	Ｒ２２
総人口	9,524	9,244	8,971	8,706	8,201	7,416	6,733	6,135
高齢者人口	4,036	4,065	4,019	3,964	3,866	3,640	3,354	3,068
65～74歳	1,819	1,793	1,733	1,669	1,547	1,277	1,159	1,057
75～84歳	1,398	1,437	1,450	1,461	1,484	1,518	1,286	1,064
85歳以上	819	835	836	834	835	845	909	947
高齢化率	42.4%	44.0%	44.8%	45.5%	47.1%	49.1%	49.8%	50.0%

資料：健康推進課推計

年齢区分別人口と高齢化率の推移



（２）　後期高齢者割合の推移

高齢者人口のうち７５歳以上の後期高齢者の割合は、既に半数を超えており、今後も、増加傾向で推移するものと推測され、令和７年度には６０％に達するものと見込まれます。

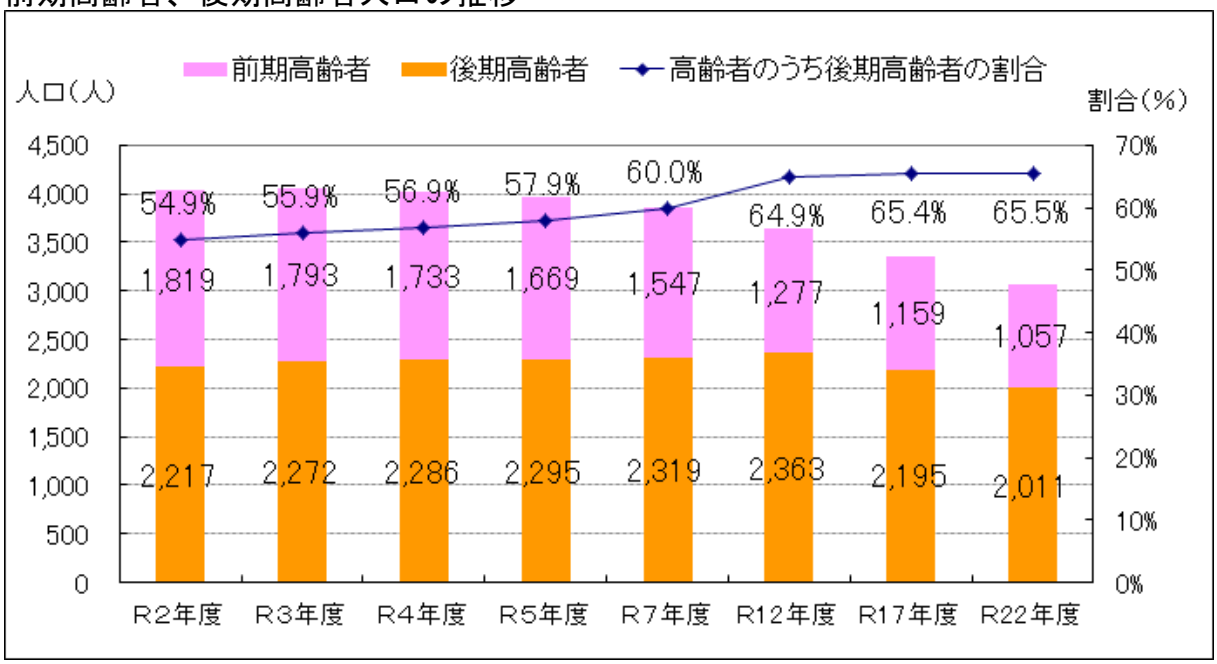
高齢者数は令和３年度をピークに減少に転じますが、後期高齢者数は令和１２年度まで増加し、その後減少する見込です。

（単位：人）

区分	第７期	第　８　期			2025年	2030年	2035年	2040年
	Ｒ２	Ｒ３	Ｒ４	Ｒ５	Ｒ７	Ｒ１２	Ｒ１７	Ｒ２２
高齢者人口	4,036	4,065	4,019	3,964	3,866	3,640	3,354	3,068
65～74歳	1,819	1,793	1,733	1,669	1,547	1,277	1,159	1,057
前期高齢者割合	45.1%	44.1%	43.1%	42.1%	40.0%	35.1%	34.6%	34.5%
75歳以上	2,217	2,272	2,286	2,295	2,319	2,363	2,195	2,011
後期高齢者割合	54.9%	55.9%	56.9%	57.9%	60.0%	64.9%	65.4%	65.5%

資料：健康推進課推計

前期高齢者、後期高齢者人口の推移



２　要介護・要支援認定者数の推移及び見込み

（１）　要介護・要支援認定者数の推移

要介護認定者数は、平成２７年度以降減少傾向にありましたが、介護ニーズの高い８５歳以上人口の増加等に伴い、令和元年度から増加に転じています。

（単位：人）

区分	第　６　期			第　７　期		
	Ｈ27年度	Ｈ28年度	Ｈ29年度	Ｈ30年度	Ｒ１年度	Ｒ２年度
要支援１	20	23	10	15	17	18
要支援２	50	39	33	40	43	41
要介護１	161	150	133	121	127	149
要介護２	203	179	172	167	184	175
要介護３	174	172	154	144	144	159
要介護４	132	124	112	122	141	138
要介護５	125	121	128	117	102	103
合計	865	808	742	726	758	783
（増減率）	（－）	（△6.6%）	（△8.2%）	（△2.2%）	（4.4%）	（3.3%）

資料：「H27年度」から「R1年度」までは実績値、「R2年度」は健康推進課推計

（２）　要介護・要支援認定者数の見込み

被保険者数は令和３年度をピークに減少するものの、後期高齢者数は令和１２年度まで増加すると予測されることから、要介護認定者数は令和１７年度まで横ばいで推移するものと見込まれます。

（単位：人）

区分	第　８　期			2025年	2030年	2035年	2040年
	Ｒ３年度	Ｒ４年度	Ｒ５年度	Ｒ７年度	Ｒ12年度	Ｒ17年度	Ｒ22年度
要支援１	16	15	16	17	18	21	21
要支援２	34	34	33	32	34	33	30
要介護１	143	146	146	146	146	144	140
要介護２	209	214	215	216	217	217	211
要介護３	173	174	180	177	175	175	170
要介護４	145	144	144	145	145	145	142
要介護５	111	114	115	114	113	113	113
合計	831	841	849	847	848	848	827
（増減率）	（6.1%）	（1.2%）	（1.0%）	（△0.2%）	（0.1%）	（0.0%）	（△2.5%）

資料：健康推進課推計

３　介護保険サービスの利用状況

（１）　サービス受給者数（延べ数）の状況

サービス受給者数は、地域密着サービス受給者が減少する一方、居宅サービス受給者及び施設サービス受給者が増加しています。

（単位：人、カッコ内は増減率）

区　　分	第７期		
	Ｈ30年度	Ｒ１年度	Ｒ２年度
居宅サービス受給者	5,800 (－)	5,852 (0.9%)	5,929 (1.3%)
地域密着型サービス受給者	834 (－)	714 (△14.4%)	745 (4.3%)
施設サービス受給者	1,846 (－)	1,879 (1.8%)	2,062 (9.7%)
介護老人福祉施設	849 (－)	930 (9.5%)	992 (6.7%)
介護老人保健施設	981 (－)	926 (△5.6%)	1,036 (11.9%)
介護療養型医療施設	18 (－)	18 (0.0%)	35 (94.4%)
介護医療院	0 (－)	6 (皆増)	0 (皆減)
合　　計	8,480 (－)	8,445 (△0.4%)	8,736 (3.4%)

資料：介護保険事業状況報告（年報）。R2年度は見込値
※　「施設サービス受給者」欄の人数と各施設ごとの人数の合計は、一致しないことがある。

（２）　介護保険給付費の状況

介護保険給付費の総額は増加傾向にあり、令和２年度は１５億円を超える見込みとなっています。

（単位：千円、カッコ内は増減率）

区　　分	第７期		
	Ｈ30年度	Ｒ１年度	Ｒ２年度
居宅サービス給付費	785,978 (－)	797,631 (1.5%)	835,370 (4.7%)
地域密着型サービス給付費	169,506 (－)	149,694 (△11.7%)	147,295 (△1.6%)
施設サービス給付費	463,630 (－)	483,407 (4.3%)	534,318 (10.5%)
介護老人福祉施設	206,362 (－)	230,748 (11.8%)	245,458 (6.4%)
介護老人保健施設	250,491 (－)	245,064 (△2.2%)	282,555 (15.3%)
介護療養型医療施設	6,776 (－)	5,433 (△19.8%)	6,305 (16.1%)
介護医療院	0 (－)	2,162 (皆増)	0 (皆減)
介護保険給付費総額	1,419,114 (－)	1,430,732 (0.8%)	1,516,983 (6.0%)

資料：介護保険事業状況報告（年報）R2年度は見込額

第３章　基本理念・基本方針

１　基本理念

高齢者が住み慣れた地域で自分らしく暮らすことができるまちづくり
～「地域共生社会」の実現を目指して～

当町は、三戸町総合振興計画の基本構想において、目指す将来像を「みんなが集う　みんなで創る　みんなを笑顔に　美しいふるさと　さんのへ」と定め、その中で「支え合い、安心して暮らせる『健幸』のまちづくり」を基本目標の一つとし、この基本目標を達成するための施策として、「高齢者支援の充実」を掲げています。

高齢者が、尊厳を保ちながら、住み慣れた地域でその人らしく、生きがいをもって日々の生活を送ることができるよう、社会全体が一体となって支え合い、安心して暮らしつづけることができるまちづくりを目指します。

この基本理念の実現に向けて、次に掲げる基本方針に基づき事業を推進していきます。

２　基本方針

（１）　高齢者を地域で支える社会の形成

高齢者が、住み慣れた地域で安心して暮らすことができるよう、「地域包括ケアシステム」の充実を図り、高齢者を地域で支えます。

（２）　高齢者福祉サービスの充実

高齢者が要介護・要支援状態にならないよう、介護予防対策を重点的に展開するとともに、介護サービスを必要としている高齢者に、適切な介護サービスが提供されるようにサービス基盤を整備します。

また、一人暮らし高齢者や高齢者のみの世帯が増加していることから、関係者との連携や地域で見守る体制を強化するとともに、地域包括支援センター機能の充実を図っていきます。

（３）　地域づくりによる元気な高齢者づくり

より多くの高齢者が、身近な地域で、介護予防活動や健康づくり活動、社会活動に参加できるよう支援することにより、元気な高齢者づくりを推進します。

（４）　認知症施策の推進

認知症施策推進大綱（令和元年6月18日認知症施策推進関係閣僚会議決定）を踏まえ、認知症になっても希望を持って日常生活を過ごせる社会の実現を目指し、認知症の方やその家族の視点を重視しながら認知症施策を推進します。

第４章　施策の展開

１　地域包括ケアシステムの推進

（１）　地域包括支援センターの充実

高齢化が進む中、地域包括ケアシステムにおける中核的な機関として、地域包括支援センターの役割はますます重要となっています。

今後も、高齢化の進行や要支援・要介護者の増加に伴い、各種相談や困難事例への対応など、業務量の増加が予想されることから、適切な人員配置の確保に努めるとともに、事業活動に対する定期的な点検・評価を適切に行い、地域包括支援センターの運営が安定的・継続的に行われるよう、引き続き体制整備に取り組みます。

また、関係機関と連携しつつ、高齢者の総合的な相談窓口としての体制の充実に努めます。

（２）　在宅医療・介護連携の推進

医療と介護の両方を必要とする状態の高齢者が、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、在宅医療と介護を一体的に提供するために、医療機関と介護事業所等の関係者の連携を推進することが求められています。

これまでの事業を踏まえ、取組内容の充実を図りつつ、ＰＤＣＡサイクルに沿った取組を更に進めることとし、次の事業を実施します。

①　地域の医療・介護の資源の把握
②　在宅医療・介護連携の課題の抽出
③　切れ目のない在宅医療と在宅介護の提供体制の構築推進
④　医療・介護関係者の情報共有の支援
⑤　在宅医療・介護連携に関する相談支援
⑥　医療・介護関係者の研修
⑦　地域住民への普及啓発

（３）　生活支援・介護予防サービスの基盤整備の推進

単身又は夫婦のみの高齢者世帯等、支援を必要とする高齢者世帯の増加を背景として、生活支援サービスを担う多様な事業主体と連携しながら、日常生活上の支援体制の充実・強化及び高齢者の社会参加の推進を一体的に図っていくことを目的として、次の事業を実施します。

また、生活支援・介護予防サービスの充実においては、高齢者の社会参加や社会的役割を持つことが、高齢者の生きがいや介護予防に繋がるという観点から、高齢者等の力を活用するため、就労的活動支援コーディネーター（就労的

活動支援員）の配置を検討します。

さらに、生活支援サービスを担う事業主体が実施する事業を介護予防・日常生活支援総合事業における「住民主体による支援」及び「移動支援」に移行できるよう取り組みます。

① 生活支援コーディネーターの配置
② 協議体の設置
③ みまもり配食サービス事業の実施
④ 高齢者外出支援サービス事業の実施
⑤ 除雪支援サービス事業の実施
⑥ ほのぼの見守りネットワーク事業の実施

（４） 地域ケア会議の推進

介護、福祉、保健及び医療等の各種サービスや地域における多様な社会資源の総合調整を行い、困難事例及び広域的課題について検討するとともに、地域のケア体制の整備・充実を図るため、地域ケア会議を活用します。

区分	実績値		見込値	目　標　値		
	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
会議・研修会開催回数	10回	9回	6回	10回	10回	10回
個別会議開催回数	4回	4回	4回	4回	4回	4回

資料：健康推進課

（５） 高齢者の居住安定に係る施策との連携

住まいは地域包括ケアシステムの基礎となるため、地域においてそれぞれの生活のニーズに合った住まいが提供され、かつ、その中で生活支援サービスを利用しながら個人の尊厳が確保された生活が実現されることが、保健、医療、介護等のサービスが提供される前提となります。

このため、持ち家や賃貸住宅の住宅改修支援に加え、生活指導・相談、安否の確認、一時的な家事援助、加齢対応構造等を備えた公営住宅、その他の高齢者に対する賃貸住宅及び老人ホームに関する供給目標等について、必要に応じて県等と連携を図り定めます。

また、一人暮らし高齢者や高齢者夫婦のみの世帯が増加していることから、今後ますます「高齢者向けの住まい」のニーズが高くなることが予想されます。

今後においても、特定施設入居者生活介護の指定を受けていない有料老人ホーム及びサービス付き高齢者向け住宅が、多様な介護ニーズの受け皿としての役割を果たせるよう、必要に応じて県等と連携を図ります。

特定施設入居者生活介護の指定を受けていない有料老人ホーム及びサービス付き高齢者向け住宅の入居定員総数及び要介護重度者の受入状況

（令和２年７月１日現在）

区　　分	入居定員総　数	入居者数		
			要介護４	要介護５
有料老人ホーム(注1)	65人	65人	17人	13人
サービス付き高齢者向け住宅(注2)	―	―	―	―

資料：青森県健康福祉部高齢福祉保険課

注１：　有料老人ホームは、高齢者が暮らしやすいように配慮された住宅で、入浴や食事の介助、食事の提供、洗濯や掃除等の家事、健康管理などの日常生活を送るうえで必要とされるサービスが提供されるものです。

　有料老人ホームには、介護付、住宅型、健康型と３つの類型があり、提供されるサービスの種類は、各有料老人ホームによって異なります。

注２：　サービス付き高齢者向け住宅は、高齢者の居住の安定を確保することを目的として、介護・医療と連携し、高齢者の安心を支えるサービスを提供するバリアフリー構造の住宅です。

　サービス付き高齢者向け住宅のサービスでは、少なくとも安否確認サービス及び生活相談サービスを提供することとなっています。

２　高齢者福祉サービスの充実

（１）　介護予防の推進

団魂の世代が７５歳以上となる令和７年（２０２５年）に向け、単身高齢者や高齢者夫婦のみの世帯、認知症高齢者の増加が予測されるなか、介護が必要な状態になっても住み慣れた地域で暮らし続けることができるよう、介護だけではなく、医療や予防、生活支援、住環境など高齢者を取り巻く問題を一体的に捉え、サービス提供につなげていく地域包括ケアシステムの構築が重要な課題です。

本町の令和２年２月末現在の要介護（要支援）認定率は、県平均１８．２％を０．５ポイント上回る１８．７％であり、４０市町村のうち１６番目に高い率となっているため、介護予防事業の推進が必要です。

このため、特に、地域の高齢者自らの運営による「通いの場」の活動を支援し、いつでも集うことができる身近な地域での居場所づくりを進めることにより、介護予防や交流の場として地域に根ざしていくよう取り組むなど、地域づくりによる介護予防活動を推進します。

① 通所型介護予防事業「生き生き教室」

要介護状態になるおそれの高い高齢者を対象に、ストレッチ、筋力向上運動、レクリエーション、創作活動、野外活動等を提供することにより、運動器の機能向上及び心身機能の維持向上を図ります。

区分	実績値		見込値	目　標　値		
	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
提供日数	241日	222日	239日	242日	242日	242日
利用者数	66人	61人	51人	55人	58人	60人

資料：健康推進課、「利用者数」は年度末利用登録者数

② 地域介護予防事業「元気あっぷ教室」

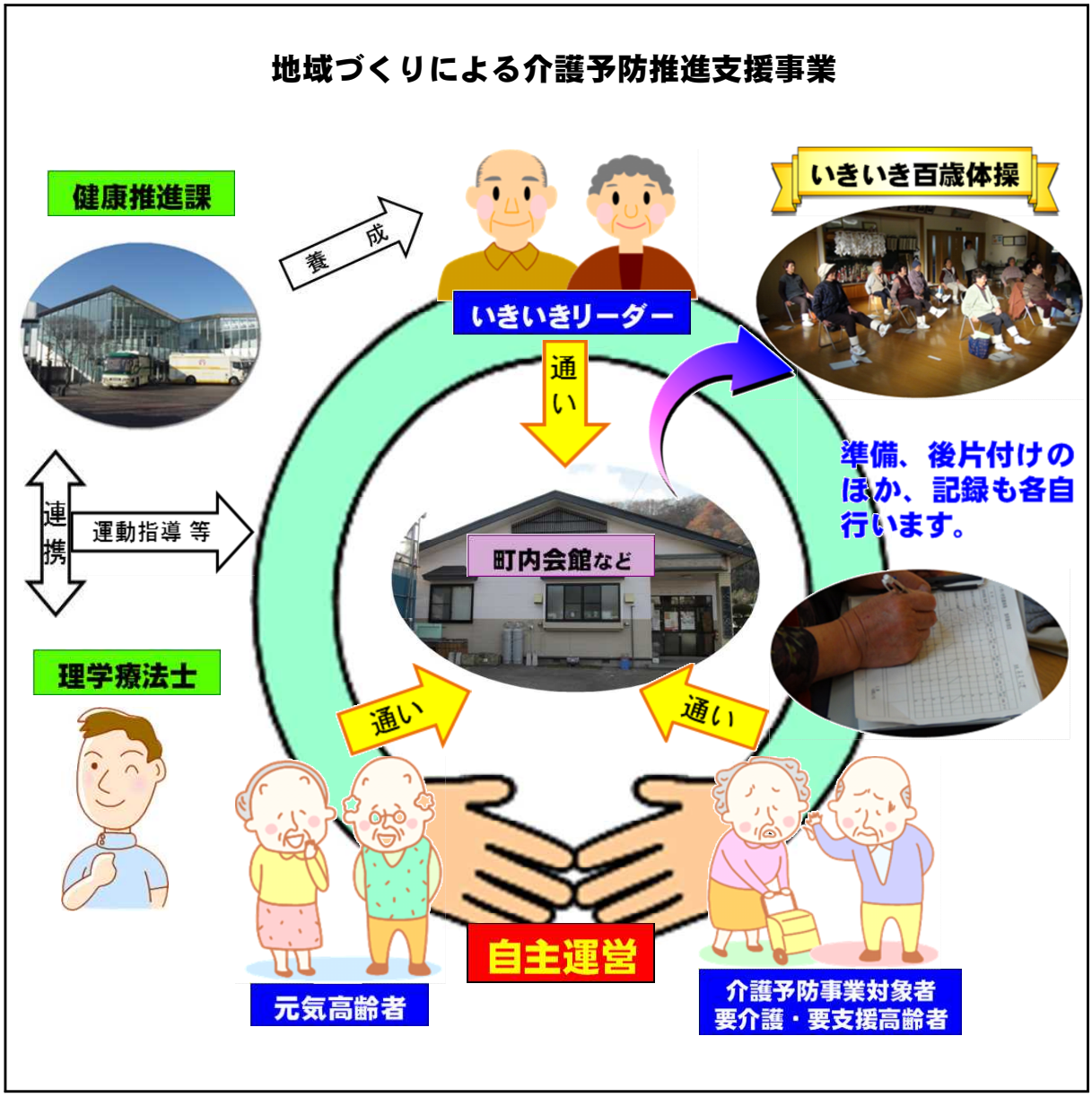
高齢者が集まりやすい身近な地域において、自らが主体的に生活機能の維持・向上のため取り組むことができるよう支援します。令和４年度以降は、次に掲げる「地域づくりによる介護予防推進支援事業」に整理統合するため、令和３年度で終了となる予定です。

区分	実績値		見込値	目　標　値		
	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
開催回数	16回	7回	3回	3回		

③ 地域づくりによる介護予防推進支援事業

高齢者が、できるだけ長く生きがいを持ちながら、それぞれの地域で自立した生活を営むことができるよう、地域の高齢者自らの運営による通いの場の活動を継続し、「いきいき百歳体操」の普及・推進を図るとともに、地域づくりによる介護予防活動を支援します。

区分	実績値		見込値	目　標　値		
	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
新規開設	2地区	1地区	0地区	0地区	0地区	1地区
合　　計	20地区	22地区	22地区	22地区	22地区	23地区
参 加 率	9.0%	7.8%	6.5%	7.0%	7.5%	8.0%



（２） 高齢者在宅生活支援事業

① みまもり配食サービス事業

食事の調理などが困難な高齢者又は身体障害者に対し、栄養バランスのとれた食事を提供することにより、高齢者等の保健衛生の向上を図るとともに、安否確認を行っています。

現在は、月曜日から金曜日までの昼食のサービスとし、社会福祉法人三戸町社会福祉協議会への業務委託により実施しております。

区分	実績値		見込値	目　標　値		
	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
提供日数	257日	259日	258日	260日	259日	258日
利用者数	174人	207人	209人	210人	206人	205人
配 食 数	12,921食	13,257食	13,388食	13,508食	13,250食	13,314食

資料：健康推進課

② 外出支援サービス事業

心身の障害等により、車いすを利用している高齢者及び重度心身障害者等で、一般の交通機関を利用することが困難な方に対し、リフト付きワゴン車により、利用者の居宅から、在宅福祉サービスを提供する場所又は医療機関等までの区間を移送するサービスを提供することにより、高齢者の社会参加を促進し在宅生活の継続を支援します。

事業は、道路運送法（昭和２６年法律第１８３号）第７８条に規定する「有償運送」に該当し、その実施は、同法第７９条の規定により、国土交通大臣の行う登録を受けなければならないことから、当該登録を受けている社会福祉法人三戸町社会福祉協議会への業務委託により実施します。

区分	実績値		見込値	目　標　値		
	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
提供日数	247日	247日	246日	245日	246日	246日
利用者数	101人	102人	100人	101人	101人	101人
利用回数	1,326回	1,642回	1,684回	1,726回	1,768回	1,810回

資料：健康推進課

③ 除雪支援サービス事業

在宅生活において支援を要する高齢者及び障がい者の世帯について、概ね１５㎝以上の降雪時において、玄関前から公道までの除雪（通行幅６０㎝）を行うことにより、対象世帯員の身体的・精神的な負担の軽減を図り、在宅生活の継続を支援します。

区分	実績値		見込値	目　標　値		
	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
利用世帯	73世帯	87世帯	81世帯	85世帯	80世帯	75世帯
稼働回数	181回	258回	260回	270回	260回	250回

資料：健康推進課

④ 一人暮らしほっとライン事業

一人暮らしの高齢者が安心して生活できるよう、対象者に対し、町の職員が電話や訪問により近況を確認することにより、対象者の不安軽減を図るとともに、安否確認を行います。

区分	実績値		見込値	目　標　値		
	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
対象者数	123人	118人	116人	118人	120人	122人
稼働回数	311回	346回	336回	342回	348回	354回

資料：健康推進課

⑤ 緊急通報装置維持管理事業費補助事業

高齢者等が、安心・安全に生活できるよう支援することを目的に、青森県社会福祉協議会が実施している「福祉安心電話サービス事業」により設置された緊急通報装置の利用に係る会費（月額１，０００円）と機器交換及び取付等の補助を行います。

区分	実績値		見込値	目　標　値		
	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
設 置 数	36台	37台	39台	40台	40台	40台

資料：健康推進課

⑥ ほのぼの見守りネットワーク事業

高齢者や障がい者をはじめ、誰もが共に支え合い、住み慣れた地域において、安心して生活できるような地域福祉社会を構築するため、一人暮らしの高齢者や高齢者夫婦世帯等、地域とのつながりが必要な方を見守ります。

区分	実績値		見込値	目　標　値		
	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
見守り対象者数	130人	152人	135人	140人	145人	150人

資料：健康推進課

⑦ 避難行動要支援者管理システムの活用

「避難行動要支援者管理システム」とは、災害が発生し、又は災害が発生するおそれがある場合．避難することが困難な方が、安全に避難することができるよう、居住地を地図上に表示するものです。

このシステムの活用により、対象者の見守り体制を構築するとともに、平常時及び緊急時の支援活動が迅速に行われるよう、地域ぐるみの見守り体制を拡充することができます。

（３）　家族介護支援事業

① 家族介護用品給付事業

介護者の経済的負担の軽減を図るとともに、家族介護の支援を目的として、介護者に対し、家族介護用品を給付します。

② 家族介護支援金支給事業

介護者の経済的負担の軽減を図るとともに、家族介護の支援を目的として、介護者に対し、家族介護支援金を支給します。

３　高齢者の健康・生きがいづくりの推進

（１）　高齢者の保健事業と一般介護予防事業等との一体的な実施

高齢者は複数の慢性疾患に加え、認知機能や社会的な繋がりが低下するといった、いわゆるフレイル状態になりやすい傾向にあることから、高齢者一人ひとりに対して、きめ細かな生活習慣病等の疾病予防・重症化予防と、フレイル対策等の介護予防を一体的に実施することが必要となっています。

人生１００年時代を見据え、高齢者の健康増進を図り、できる限り健やかに過ごせるよう、医療、介護、健康診査等のデータ分析による地域及び高齢者の健康課題の把握を行い、高齢者への個別的支援及び通いの場等への積極的な関与を行う、高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施を推進します。

（２）　生きがいづくりの推進・社会参加の促進

高齢期において、住み慣れた地域で、心豊かな暮らしを送るためには、高齢者が生涯学習やスポーツ、趣味の活動に積極的に参加することなどにより、生きがいを持って暮らすことが重要です。また、高齢化社会の中で、互いに支え合うことのできる地域社会の構築のため、サービスを受けるばかりでなく、高齢者自身がサービスの担い手となることも求められています。

今後、高齢者人口が増加すると予想されることから、元気な高齢者が地域社会の中で、その豊富な知識や経験、能力を生かしながら、地域活動に積極的に参加する環境の整備を進めながら、各種事業を推進していきます。

① 老人クラブ事業の支援

老人クラブ連合会及び単位老人クラブに対し補助金を交付し、高齢者の知識と経験を生かした様々な社会奉仕活動や生きがいと健康づくりのための自主的な取り組みを支援しています。

老人クラブ連合会では、単位老人クラブの代表組織としての活動のほか、スポーツ大会や、健康づくり事業を実施しています。

単位老人クラブでは、除草や花植え等の奉仕活動、会員相互の親睦や教養を高めるための講座の開催、健康増進を目的としたレクリェーション活動等を行っていますが、新規会員の加入が進まず、会員数は年々減少しております。

老人クラブ組織は、高齢者自身が地域社会における役割を見いだし、生きがいをもって積極的に社会に参加していくためのひとつの基盤であることから、今後も継続して支援してまいります。

区分	実績値		見込値	目　標　値		
	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
クラブ数	22クラブ	21クラブ	19クラブ	19クラブ	19クラブ	19クラブ
会 員 数	679人	641人	550人	560人	570人	580人

資料：健康推進課

② 敬老事業

ア　敬老会の開催

多年にわたり社会に尽くされた高齢者の長寿を祝い、これまでの社会貢献に感謝するとともに、高齢者の生きがいを高め、ふれあいと活力ある長寿社会の形成に資するため、数え年７５歳以上の方を対象として、毎年９月に町の敬老会を開催しています。

年々対象者が減少し、参加者も減少するものと見込まれますが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を予防するための「新しい生活様式」への対応を図るため、開催方法等を検討しながら、令和３年度以降も開催いたします。

区分	実　績　値			見込（目標）値		
	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
対象者数	2,409人	2,361人	2,334人	2,320人	2,310人	2,300人
参加者数	584人	567人	—	557人	555人	552人
参 加 率	24.2%	24.0%	—	24.0%	24.0%	24.0%

資料：健康推進課、令和２年度は新型コロナウイルス感染防止のため中止

イ　１００歳高齢者の顕彰

高齢者を敬愛し、更なる長寿を願うため、満１００歳を迎えた高齢者に、顕彰状と祝い金を贈呈し、祝意を表しております。

祝い金の支給額等を検討しながら、令和３年度以降も実施いたします。

区分	実　績　値			見　込　値		
	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
顕彰者数	2人	2人	7人	2人	5人	6人

資料：健康推進課

４　認知症施策の推進

「認知症施策推進大綱」（令和元年６月）では、認知症は誰もがなり得るものであり、認知症の発症を遅らせ認知症になっても希望を持って日常生活を過ごせる社会を目指し認知症の人や家族の視点を重視しながら、「共生」と「予防」を車の両輪として施策を推進していくという基本的な考え方が示されました。

また、具体的な施策では、「普及啓発・本人発信支援」、「予防」、「医療・ケア・介護サービス・介護者への支援」、「認知症バリアフリーの推進・若年性認知症の人への支援・社会参加支援」、「研究開発・産業促進・国際展開」の５つの柱に沿って推進することとしています。

（１）　認知症に関する普及啓発、本人発信支援の推進

認知症は誰もがなり得るものであり、身近なものとなっていることから、個人・家庭・職場・地域社会において認知症への正しい理解を深めることが重要となります。

認知症について正しく理解し、認知症の人や家族を温かく見守る認知症サポーターの養成について、認知症の人と関わる機会が多い小売業、金融機関、公共交通機関等の従業員や、子ども・学生への講座の受講機会を設けるとともに、高齢者との交流などを通じて、認知症の人を含む高齢者への理解を促進させます。

また、認知症サポーターが更なるステップアップを図るための講座を実施し、認知症の人やその家族の支援ニーズに合った具体的な支援につなげる仕組み（チームオレンジ）づくりを検討していきます。

さらに、認知症への社会の理解を深め、同じ社会の一員として地域をともに創るため、認知症の人本人が自らの言葉で語り、認知症になっても希望を持って前を向いて暮らすことができている姿等を積極的に発信できるよう支援し、地域で暮らす本人とともに啓発普及を進めていきます。

（２）　認知症予防の推進

運動不足の改善、糖尿病や高血圧症等の生活習慣病の予防、社会参加による社会的孤立の解消や役割の保持等が、認知症予防に資する可能性があると示唆されています。このため、地域の高齢者自らの運営による通いの場の活動支援を継続するとともに、認知症カフェなど高齢者が身近に通える場を拡充するなど、認知症予防に資する活動を推進していきます。

また、新たに、医療・介護情報等のデータの分析・活用を行い、重症化予防につながる事業の実施に取り組みます。

（３） 容態に応じた適時・適切な医療・介護等の提供

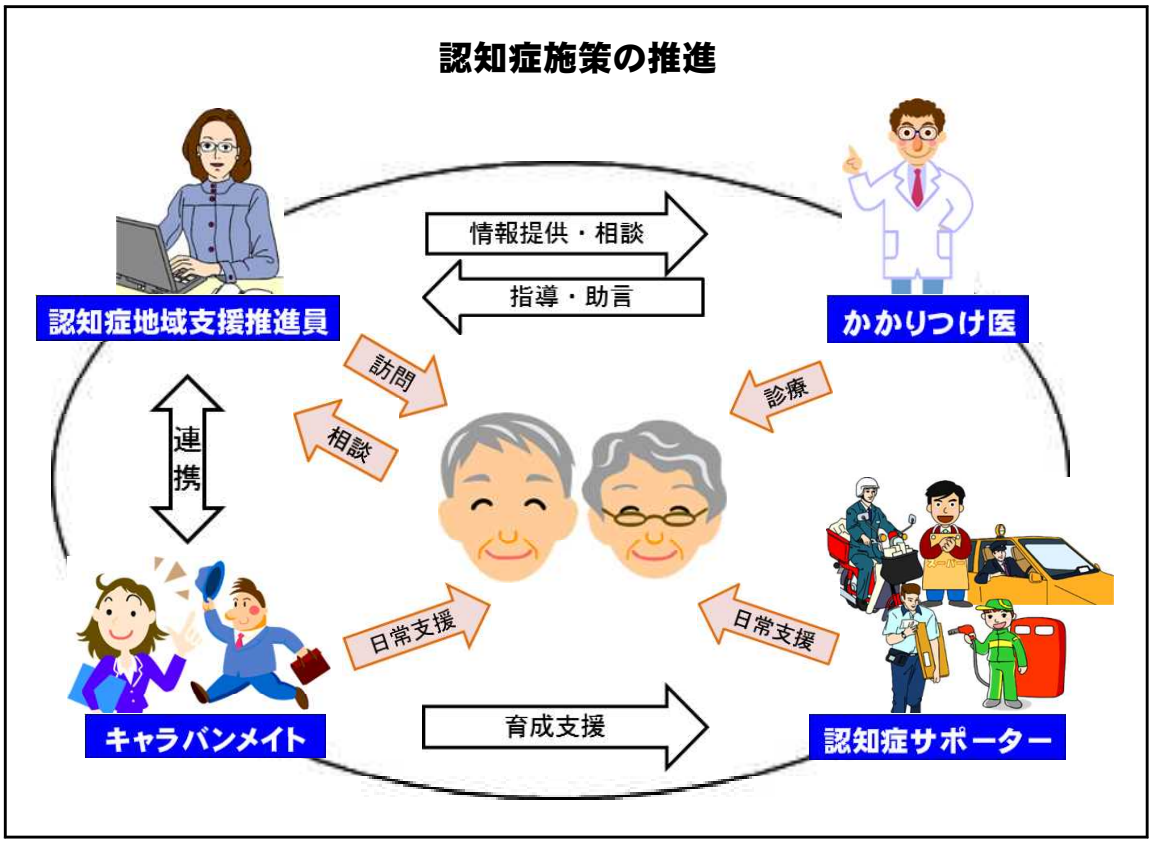
複数の専門職が、認知症が疑われる人やその家族を訪問し、観察・評価を行った上で、医療及び介護の調整や家族支援等、自立生活の支援を行う認知症初期集中支援チームの活動を継続していきます。

認知症の発症予防から人生の最終段階まで、生活機能障害の進行状況に合わせて、いつ、どこで、どのような医療・介護サービスを受ければよいのかについての流れを、あらかじめ標準的に示した「認知症ケアパス」について、定期的に記載内容を点検・更新・周知することにより、認知症の人やその家族、医療・介護関係者等の間で共有され、サービスが切れ目なく提供できるよう支援すると共に、多くの住民に広く周知し、活用の推進を図ります。

また、地域包括支援センターに配置している認知症地域支援推進員は、認知症の人とその家族を支援するための相談支援等を行いながら、医療及び介護、地域との連携づくりを行います。

区分	実績値		見込値	目　標　値		
	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
初期集中支援対象者で、年度内に医療・介護サービスにつながった者の割合	75.0%	50.0%	75.0%	75.0%	75.0%	75.0%

資料：健康推進課、国の目標値：65.0%（2025年）



（４）　認知症の人の家族介護者への支援

高齢化の進展に伴い、働き盛り世代の家族介護者が増加していくものと考えられます。認知症の人や家族が地域住民や専門職と相互に情報共有し、お互いを理解し合う認知症カフェの取組みを継続するとともに、介護者の負担軽減のために様々なサービスを活用できるよう啓発普及を図ります。

また、家族介護者が認知症の人を理解し適切に対応することにより、認知症の人の生活の質の改善につながり、家族介護者の精神的・身体的な負担の軽減に結びつきます。家族向けの認知症介護教室、交流会等を継続し、家族介護者の生活と介護の両立を支援します。

（５）　成年後見制度の利用、権利擁護の促進

成年後見制度は、認知症等により判断能力が不十分になった方を法律的に支援する制度です。

身寄りがないなどの理由により、親族などによる後見等開始の審判の申立てができない方について、町長が申立てを行ったり、費用の助成を行うことで、制度の利用を支援します。今後も、関係機関との連携を図りながら、相談支援及び制度の周知、利用促進を図ります。

また、今後、成年後見人等の需要の増大が見込まれることから、市民後見人の育成及びバックアップ体制づくりに努めます。

認知症カフェの様子

５　介護サービス基盤の充実

（１）　介護予防・生活支援サービス事業の推進

従来、介護予防給付で実施してきた介護予防訪問介護・介護予防通所介護について、平成２９年度から市町村が独自に実施する「介護予防・日常生活支援総合事業（総合事業）」へ移行されました。

総合事業では、地域の実情に応じて住民等の多様な主体が参画し、多様なサービスを充実することで、地域の支え合いの体制づくりを推進し、要支援者等に対する効果的、効率的な支援を行います。

① 介護予防ケアマネジメント事業

高齢者が、住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを継続することができるよう、訪問型サービス、通所型サービスをはじめとして、介護予防事業、生活支援サービス等適切なサービスが包括的かつ効率的に提供されるよう地域包括支援センター職員が支援します。

② 訪問型サービス

ア　介護予防訪問介護相当サービス

訪問介護事業者の訪問介護員による身体介護や生活援助などを行うサービスで、従来の保険給付による「介護予防訪問介護」と同じ基準で実施しているものです。今後も事業者と連携を図り、継続して実施します。

イ　その他の訪問型サービス

上記のほか、地域の実情に応じて必要な生活支援サービスの実施を検討し、多様な主体との連携などにより、効果的かつ効率的なサービス提供体制の構築を図ります。

③ 通所型サービス

ア　介護予防通所介護相当サービス

通所介護事業者による生活機能向上のための機能訓練などを行うサービスで、従来の保険給付による「介護予防通所介護」と同じ基準で実施しているものです。今後も事業者と連携を図り、継続して実施します。

イ　その他の通所型サービス

上記のほか、地域の実情に応じて必要な生活支援サービスの実施を検討し、多様な主体との連携などにより、効果的かつ効率的なサービス提供体制の構築を図ります。

④ その他の生活支援サービス

地域の実情に応じて必要な生活支援サービスの実施を検討し、多様な主体との連携などにより、効果的かつ効率的なサービス提供体制の構築を図ります。

（２）　保険者機能強化推進交付金等の活用

高齢化が進展し、総人口、特に現役世代人口が減少する中で、介護保険制度の持続可能性を維持するため、保険者機能を強化すべく、平成２９年度に介護保険法が改正され、保険者が地域の課題を分析して、自立支援・重度化防止に取り組むことが制度化されました。

これを受けて、平成３０年度から市町村等の様々な取組の達成状況を評価できるよう客観的な指標を設定し、市町村等の高齢化の自立支援、重度化防止等に関する取組を推進するための保険者機能強化推進交付金が創設されました。

また、令和２年度には、保険者による介護予防及び重度化防止に関する取組について更なる推進を図るための介護保険保険者努力支援交付金が創設されたところです。

本町においても、保険者機能強化推進交付金等を活用して、高齢者の自立支援・重度化防止等に向けた必要な取組を進めるとともに、新たな事業の積極的な展開を含めて、各種取組の一層の強化を図ります。

（３）　介護人材の確保と資質の向上

地域包括ケアシステムの構築・深化・推進には、それを担う介護人材の確保が重要です。しかし、現状では介護人材不足が深刻化しており、令和７（２０２５）年以降も人口減少に伴う介護の担い手の減少が顕著となることが予想されるなど、介護人材の確保が大きな課題となっています。

そのため、町内における福祉、介護サービスを担う人材の確保や介護に携わる職員の技術向上、介護事業分野における雇用の拡大を図るため、介護職員初任者研修の開催や町内中高生の職場体験等の実施を検討するとともに、県や関係機関との連携強化を図ります。

また、業務の効率化により介護職員の負担軽減を図る観点から、ＩＣＴ導入を進めていくことも重要であることから、町内事業所における介護ロボットやＩＣＴ導入の意識調査を実施するなど、介護現場革新の取組を推進します。

（４）　災害・感染症対策の推進

近年の大規模災害発生や新型コロナウイルス感染症の流行下において、高齢者福祉施設等で高齢者が犠牲となる事例が相次いで発生しました。

高齢者は、迅速・的確な避難行動が難しく被災しやすいこと、また、感染症発生時には重症化のリスクが高いことなどから、平時から危機対応を図る必要があります。

また、介護サービスは、利用者やその家族の生活のために必要不可欠なものであり、災害や感染症の発生時においてもサービスを継続する必要があります。

このため、介護事業所等における災害対策や感染症に係る業務継続計画等の作成、訓練の実施状況、必要な物資の備蓄・調達の状況を定期的に確認するなど、日頃から県や関係機関、介護事業所等と連携した取組を進めます。

（５） 介護給付費適正化事業

介護給付適正化とは、介護給付を必要とする受給者を適切に認定したうえで、受給者が真に必要とする過不足のないサービスを、事業者が適切に提供するよう促すことです。

このような介護給付の適正化を図ることは、利用者に対する適切な介護サービスの確保とその結果としての費用の効率化、さらには不適切な給付の削減を通じて、介護保険制度の信頼感を高めていくとともに、持続可能な介護保険制度の構築に資するものです。

本町においても、今後、団塊の世代がすべて７５歳以上となる令和７年（２０２５年）を見据え、高齢者が可能な限り住み慣れた地域でその有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう、包括的に支援する基盤を整えていく必要があります。

こうした中で、介護給付適正化の取り組みの重要性はさらに高まるものと考えられることから、これまでの実施状況等を踏まえ、より効率的・効果的な取り組みを継続していくこととします。

＜主要５事業の取り組み＞

① 要介護認定の適正化

要介護認定を適正に行うため、公平・公正な認定調査を実施するとともに、認定調査票などの介護認定審査会資料の点検を実施します。

区分	実績値		見込値	目　標　値		
	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
実施件数	584件	604件	374件	全件	全件	全件

② ケアプラン点検

介護支援専門員が作成した居宅介護サービス計画、介護予防サービス計画の記載内容について、事業所からの資料提出等による保険者の視点からの確認及び確認結果に基づく指導を行います。

区分	実績値		見込値	目　標　値		
	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
実施件数	19件	33件	25件	25件	25件	25件

③ 住宅改修・福祉用具点検

住宅改修・福祉用具購入の給付適正化のため、申請内容の審査を行うとともに、申請者に助言・指導を行い、必要に応じて現地調査を行います。

区分	実績値		見込値	目　標　値		
	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
住宅改修	9件	6件	8件	全件	全件	全件
福祉用具購入	24件	24件	21件	全件	全件	全件

④ 縦覧点検・医療情報との突合

縦覧点検・医療情報との突合は、国保連へ業務委託しており、提供されるデータ等をもとに介護報酬の不適正・不正な請求を発見し、給付の適正化を図ります。

⑤ 介護給付費通知

介護給付費を介護サービス利用者に通知することにより、利用したサービス内容とその自己負担額を利用者自身が確認することで、給付適正の効果を上げていきます。

区分	実績値		見込値	目　標　値		
	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
実施件数	1,555件	1,549件	1,584件	全件	全件	全件

第５章　介護サービス見込量

１　居宅（介護予防）サービス

（１）居宅（介護予防）サービスの概要

居宅サービスは、要介護認定者（要介護１～要介護５）が利用できるサービスで、状態保持改善・重度化阻止を図るものです。

介護予防サービスは、要支援認定者（要支援１・要支援２）が利用できるサービスで、介護予防、自立支援をより一層充実させるため、要支援者の状態に合ったメニューを展開するものです。

【居宅介護（介護予防）サービス】

サービスの名称	サービスの内容	利用の可否	
		要介護認定者	要支援認定者
訪問介護	訪問介護員（ホームヘルパー）などが利用者宅を訪問して、入浴、排せつ、食事などの介護や、その他の日常生活上の支援・世話を行います。	○	○
訪問入浴介護・介護予防訪問入浴介護	看護師や介護職員が簡易浴槽を利用者宅に持ち込んで、入浴の介護を行います。	○	○
訪問看護・介護予防訪問看護	看護師、准看護師、保健師、理学療法士及び作業療法士が居宅を訪問して、療養に関する世話、または必要な診療の補助を行います。	○	○
訪問リハビリテーション・介護予防訪問リハビリテーション	理学療法士や作業療法士などが利用者宅を訪問して、リハビリテーションを行います。	○	○
居宅療養管理指導・介護予防居宅療養管理指導	通院が困難なサービス利用者について、医師・歯科医師・薬剤師などが利用者宅を訪問し、心身の状況や環境などを把握しながら療養上の管理や指導を行います。	○	○
通所介護	通所介護施設（デイサービスセンター）において、入浴、排せつ、食事などの介護や、その他の日常生活上の支援・世話、機能訓練などを、日帰りで行います。	○	○
通所リハビリテーション・介護予防通所リハビリテーション	介護老人保健施設や医療機関などで、理学療法・作業療法などのリハビリテーションや、入浴、食事の提供などを、日帰りで行います。 介護予防通所リハビリテーションでは、「筋力向上」、「栄養改善」、「口腔機能向上」などのサービスを選択し、組み合わせて利用することで、生活機能の向上を図ることもできます。	○	○

サービスの名称	サービスの内容	利用の可否	
		要介護認定者	要支援認定者
短期入所生活介護・介護予防短期入所生活介護	介護老人福祉施設などに短期間入所して、入浴、排せつ、食事などの介護や、日常生活上の支援・世話、機能訓練などを行います。	○	○
短期入所療養介護・介護予防短期入所療養介護	介護老人保健施設などに短期間入所して、看護、医学的管理のもとで介護及び機能訓練、必要な医療や日常生活上の支援・世話などを行います。	○	○
特定施設入居者生活介護・介護予防特定施設入居者生活介護	介護保険法に基づく指定を受けた有料老人ホーム、軽費老人ホーム、ケアハウスなどで、特定施設サービス計画(ケアプラン)に基づき入浴、排せつ、食事などの介護や、その他の日常生活上の支援・世話、機能訓練および療養上の世話を行います。	○	○
福祉用具貸与・介護予防福祉用具貸与	利用者の心身の状況、希望およびその環境を踏まえたうえで、適切な福祉用具を選定するための援助、取り付けや調整などを行い、福祉用具を貸与します。	○	○
特定福祉用具販売・特定介護予防福祉用具販売	腰掛便座、特殊尿器など、再利用になじまない５種類の福祉用具（(1)腰掛便座、(2)特殊尿器、(3)入浴補助用具、(4)簡易浴槽、(5)移動用リフトの釣り具の部分）について、その購入費を支給します。	○	○
住宅改修費の支給	住み慣れた自宅での暮らしを可能とすることを目的に、手すりを設置したり、段差を解消したりするための住宅改修費を支給します。	○	○
居宅介護支援・居宅介護予防支援	要介護認定者の居宅サービスの適切な利用等が可能となるよう、認定者の心身の状況、置かれている環境、本人や家族の意向等を勘案して、介護支援専門員（ケアマネジャー）等が、居宅サービス計画（ケアプラン）の作成や当該計画に基づく居宅サービスや地域密着型サービスの提供が確保されるための事業者との連絡調整等を行います。	○	○

（２）居宅（介護予防）サービス見込量

【居宅介護サービス】

サービスの名称	単　位	第８期計画値		
		Ｒ３年度	Ｒ４年度	Ｒ５年度
訪問介護	回	7,883.9	7,913.9	7,906.2
訪問入浴介護	回	16.8	16.8	16.8
訪問看護	回	303.3	303.3	303.3
訪問リハビリテーション	回	36.5	36.5	36.5
居宅療養管理指導	人	62	61	60
通所介護	回	1,387.7	1,404.9	1,383.5
通所リハビリテーション	回	1,496.1	1,553.8	1,573.4
短期入所生活介護	日	1,777.8	1,745.4	1,719.0
短期入所療養介護（老健）	日	32.6	32.9	33.2
短期入所療養介護（病院等）	日	0.0	0.0	0.0
短期入所療養介護(介護医療院)	日	0.0	0.0	0.0
福祉用具貸与	人	249	251	249
特定福祉用具購入費	人	0	0	0
住宅改修費	人	0	0	0
特定施設入居者生活介護	人	6	6	6
居宅介護支援	人	488	486	478

※回（日）は１月当たりの数、人は１月当たりの利用者数

【介護予防サービス】

サービスの名称	単　位	第８期計画値		
		Ｒ３年度	Ｒ４年度	Ｒ５年度
介護予防訪問入浴介護	回	0.0	0.0	0.0
介護予防訪問看護	回	0.0	0.0	0.0
介護予防訪問リハビリテーション	回	0.0	0.0	0.0
介護予防居宅療養管理指導	人	0	0	0
介護予防通所リハビリテーション	人	18	18	17
介護予防短期入所生活介護	日	0.0	0.0	0.0
介護予防短期入所療養介護（老健）	日	0.0	0.0	0.0
介護予防短期入所療養介護（病院等）	日	0.0	0.0	0.0
介護予防短期入所療養介護(介護医療院)	日	0.0	0.0	0.0
介護予防福祉用具貸与	人	8	8	8
特定介護予防福祉用具購入費	人	0	0	0
介護予防住宅改修	人	0	0	0
介護予防特定施設入居者生活介護	人	0	0	0
介護予防支援	人	22	22	22

※回（日）は１月当たりの数、人は１月当たりの利用者数

２　地域密着型（介護予防）サービス

（１）地域密着型（介護予防）サービスの概要

できる限り住み慣れた地域や自宅で生活を継続できるように、保険者が事業者を指定できるサービスです。

地域密着型サービスは要介護認定者が、地域密着型介護予防サービスは要支援認定者が利用できます。

【地域密着型（介護予防）サービス】　　※当町で提供可能なサービスのみ記載

サービスの名称	サービスの内容	利用の可否	
		要介護認定者	要支援認定者
認知症対応型通所介護・介護予防認知症対応型通所介護	認知症の方に対応したメニューで実施する通所介護（デイサービス）です。	○	○
認知症対応型共同生活介護・介護予防認知症対応型共同生活介護	認知症の方が居住するグループホーム（１ユニット９人）です。	○	○ 要支援１は×
地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	定員２９人以下の特別養護老人ホームです。	○	×
地域密着型通所介護	平成２８年４月から小規模な通所介護事業所は、地域密着型サービスの位置付けとなりました。	○	○

（２）地域密着型（介護予防）サービス見込量

【地域密着型サービス】

サービスの名称	単　位	第８期計画値		
		Ｒ３年度	Ｒ４年度	Ｒ５年度
認知症対応型通所介護	回	0.0	0.0	0.0
認知症対応型共同生活介護	人	45	46	47
地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	人	0	0	0
地域密着型通所介護	人	25	25	25

※回は１月当たりの数、人は１月当たりの利用者数

【地域密着型介護予防サービス】

サービスの名称	単　位	第８期計画値		
		Ｒ３年度	Ｒ４年度	Ｒ５年度
介護予防認知症対応型通所介護	回	0.0	0.0	0.0
介護予防認知症対応型共同生活介護	人	0	0	0

※回は１月当たりの数、人は１月当たりの利用者数

３　施設介護サービス

（１）施設介護サービスの概要

施設に入所して受けるサービスです。

【施設介護サービス】

サービスの名称	サービスの内容	利用の可否	
		要介護認定者	要支援認定者
介護老人福祉施設	常時介護が必要で、家庭での生活が困難な場合に入所する施設（入所定員３０人以上）で、要介護者に、入浴・排せつ・食事等の介護その他の日常生活上の支援や機能訓練、健康管理及び療養上の世話を行います。	○	×
介護老人保健施設	病状が安定し、リハビリテーションを中心とする医療ケアと介護を必要とする場合に入所する施設。要介護者に、看護、医学的管理下での介護、機能訓練その他必要な医療及び日常生活上の支援を行います。	○	×
介護医療院	比較的長期にわたって療養を必要とする場合に入院する施設。要介護者に、療養上の管理、看護、医学的管理下での介護等の支援及び機能訓練等の必要な医療を行います。 ※平成３０年４月の介護保険法改正により新たに法定化された施設	○	×
介護療養型医療施設	比較的長期にわたって療養を必要とする場合に入院する施設。要介護者に、療養上の管理、看護、医学的管理下での介護等の支援及び機能訓練等の必要な医療を行います。 ※設置期限：2023年度末まで	○	×

（２）施設介護サービス見込量

サービスの名称	単　位	第８期計画値		
		Ｒ３年度	Ｒ４年度	Ｒ５年度
介護老人福祉施設	人	86	88	92
介護老人保健施設	人	90	92	95
介護医療院	人	0	0	0
介護療養型医療施設	人	2	2	2

※人は１月当たりの利用者数

第６章　介護保険総事業費の見込み

１　標準給付費

（１）介護給付費、介護予防給付費

令和３年度から令和５年度までの計画期間中における介護給付費及び介護予防給付費を合計約５１億３，０００万円見込みました。

【介護給付費】　（単位：千円）

	Ｒ３年度	Ｒ４年度	Ｒ５年度
(1)　居宅サービス	869,618	875,537	871,807
①　訪問介護	314,646	315,988	315,536
②　訪問入浴介護	2,473	2,474	2,474
③　訪問看護	13,936	13,944	13,944
④　訪問リハビリテーション	1,204	1,205	1,205
⑤　居宅療養管理指導	4,728	4,654	4,576
⑥　通所介護	133,705	135,001	133,072
⑦　通所リハビリテーション	166,851	173,371	175,117
⑧　短期入所生活介護	178,564	175,191	172,430
⑨　短期入所療養介護	4,050	4,089	4,126
⑩　福祉用具貸与	33,900	34,050	33,757
⑪　特定施設入居者生活介護	15,561	15,570	15,570
⑫　特定福祉用具購入費	0	0	0
⑬　住宅改修費	0	0	0
(2)　地域密着型サービス	160,248	163,545	166,652
①　認知症対応型通所介護	0	0	0
②　認知症対応型共同生活介護	140,744	143,930	147,037
③　地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護	0	0	0
④　地域密着型通所介護	19,504	19,615	19,615
(3)　施設サービス	554,286	567,397	588,859
①　介護老人福祉施設	257,024	263,338	274,972
②　介護老人保健施設	290,918	297,712	307,540
③　介護医療院	0	0	0
④　介護療養型医療施設	6,344	6,347	6,347
(4)　居宅介護支援	95,631	95,330	93,941
介護給付費合計　Ａ	**1,679,783**	**1,701,809**	**1,721,259**

３年間合計　5,102,851

【介護予防給付費】　（単位：千円）

	Ｒ３年度	Ｒ４年度	Ｒ５年度
(1)　介護予防サービス	7,843	7,847	7,334
①　介護予防訪問看護	0	0	0
②　介護予防訪問リハビリテーション	0	0	0
③　介護予防居宅療養管理指導	0	0	0
④　介護予防通所リハビリテーション	7,499	7,503	6,990
⑤　介護予防福祉用具貸与	344	344	344
(2)　介護予防支援	1,213	1,214	1,214
介護予防給付費合計　Ｂ	**9,056**	**9,061**	**8,548**

３年間合計　26,665

介護（予防）給付費合計（Ａ＋Ｂ）	**1,688,839**	**1,710,870**	**1,729,807**

３年間合計　5,129,516

（２）特定入所者介護サービス費等

令和３年度から令和５年度までの計画期間中における食費・居住費（滞在費）について低所得者の負担を軽減するために設けられた補足給付としての「特定入所者介護サービス費」、１か月の利用料が一定の額を超えた場合に給付される「高額介護サービス費」、医療保険自己負担額と介護サービス利用料を合算し一定の額を超えた場合に給付される「高額医療合算介護サービス等」、認定審査時にかかる「審査支払手数料」を合計約３億２，５００万円見込みました。

【その他給付費】　（単位：千円）

	Ｒ３年度	Ｒ４年度	Ｒ５年度
特定入所者介護サービス費	61,637	58,144	58,700
高額介護サービス費	41,769	41,969	42,293
高額医療合算介護サービス費	5,154	5,205	5,244
審査支払手数料	1,521	1,539	1,554
その他給付費合計	**110,081**	**106,857**	**107,791**

３年間合計　324,729

（３）標準給付費（（１）＋（２））

（１）の介護（予防）給付費に（２）の特定入所者介護サービス費等を加え、標準給付費となります。

これにより、令和３年度から令和５年度までの計画期間中における標準給付費を合計約５４億５，４００円見込みました。

【標準給付費】　（単位：千円）

	Ｒ３年度	Ｒ４年度	Ｒ５年度
介護（予防）給付費合計　（１）の額	1,688,839	1,710,870	1,729,807
その他給付費合計　（２）の額	110,081	106,857	107,791
標準給付費合計	**1,798,920**	**1,817,727**	**1,837,598**

３年間合計　5,454,245

２　地域支援事業費

令和３年度から令和５年度までの計画期間中における地域支援事業費を合計約２億３００万円見込みました。

【地域支援事業費】　（単位：千円）

	Ｒ３年度	Ｒ４年度	Ｒ５年度
(1)介護予防・日常生活支援総合事業	27,493	27,207	27,207
①　訪問介護相当サービス	5,731	5,635	5,635
②　通所介護相当サービス	11,466	11,276	11,276
③　介護予防把握事業	27	27	27
④　介護予防普及啓発事業	9,600	9,600	9,600
⑤　地域介護予防活動支援事業	669	669	669
(2)包括的支援事業及び任意事業	37,089	37,089	37,089
①　包括的支援事業（地域包括支援センターの運営）	26,223	26,223	26,223
②　任意事業	10,866	10,866	10,866
(3)包括的支援事業（社会保障充実分）	3,160	3,160	3,160
①　在宅医療・介護連携推進事業	72	72	72
②　生活支援体制整備事業	324	324	324
③　認知症初期集中支援推進事業	1,719	1,719	1,719
④　認知症地域支援・ケア向上事業	869	869	869
⑤　地域ケア会議推進事業	176	176	176
地域支援事業費合計　Ｂ	**67,742**	**67,456**	**67,456**

３年間合計　202,654

３　総事業費

１の「標準給付費」に２の「地域支援事業費」を加え、介護保険事業の総事業費となります。

令和３年度から令和５年度までの計画期間中における総事業費を合計約５６億５，７００万円見込みました。

【総事業費】　（単位：千円）

	Ｒ３年度	Ｒ４年度	Ｒ５年度
標準給付費合計	1,798,920	1,817,727	1,837,598
地域支援事業費合計	67,742	67,456	67,456
第８期総事業費	**1,866,662**	**1,885,183**	**1,905,054**

３年間合計　5,656,899

第７章　介護保険料の見込み

１　介護保険の財源

介護保険の財源については、利用者の負担額を除いた介護給付にかかる費用（介護給付費）の５０％を保険料、残り５０％を税金等の公費で賄うこととなっており、第１号被保険者は介護給付費の２３％を負担することになっています。

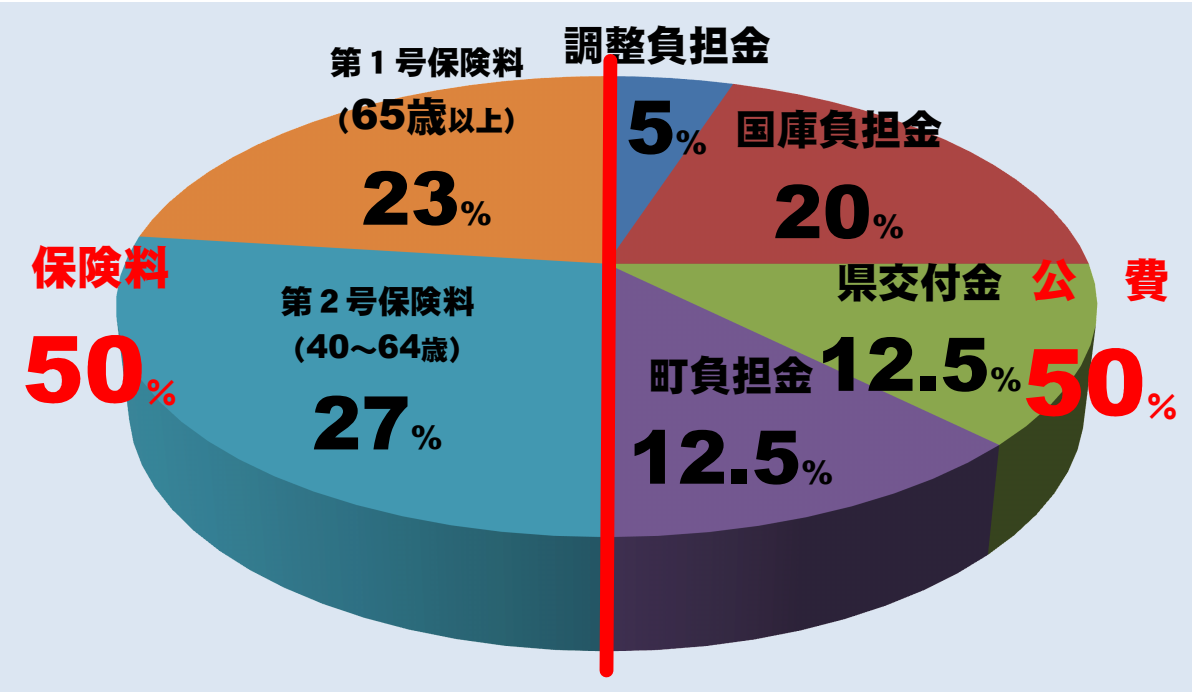
なお、地域支援事業費のうち、包括的支援事業・任意事業の財源については、第１号被保険者の保険料と公費で構成されます。

（単位：％）

区分		介護給付費		地域支援事業費	
		施設等分	その他分	総合事業	包括的支援事業 任意事業
公費	国	15.0	20.0	20.0	38.5
	国（調整交付金）	5.0	5.0	5.0	―
	県	17.5	12.5	12.5	19.25
	町	12.5	12.5	12.5	19.25
	小計	50.0	50.0	50.0	77.0
保険料	第１号被保険者	23.0	23.0	23.0	23.0
	第２号被保険者	27.0	27.0	27.0	―
	小計	50.0	50.0	50.0	23.0
合計		100.0	100.0	100.0	100.0

※　調整交付金については、各市町村の高齢化率や所得水準による財政力格差を調整するため、５％未満又は５％を超えて交付される場合があります。

【財源構成イメージ】介護給付費（その他分）



２　第１号被保険者の介護保険料

第１号被保険者の保険料は、所得段階によって異なります。本計画においては、保険料基準額を年額９２，６４０円（月額７，７２０円）とします。

所得段階	Ｒ３～Ｒ５年度		対　象　者
	保険料年額（軽減後）	負担割合（軽減後）	
第１段階	46,320円 (27,790円)	0.50 (0.30)	◆生活保護の方 ◆世帯全員住民税非課税かつ本人年金収入80万円以下
第２段階	69,480円 (46,320円)	0.75 (0.50)	◆世帯全員が住民税非課税で、合計所得金額＋課税年金収入額が 80万円超120万円以下
第３段階	69,480円 (64,840円)	0.75 (0.70)	◆世帯全員が住民税非課税で、合計所得金額＋課税年金収入額が120万円超
第４段階	83,370円	0.90	◆世帯員に住民税課税者がいるが、本人は住民税非課税で、合計所得金額＋課税年金収入額が80万円以下
第５段階	92,640円	1.00	◆世帯員に住民税課税者がいるが、本人は住民税非課税で、合計所得金額＋課税年金収入額が80万円超
第６段階	111,160円	1.20	◆本人が住民税課税で、合計所得金額が120万円未満
第７段階	120,430円	1.30	◆本人が住民税課税で、合計所得金額が120万円以上210万円未満
第８段階	138,960円	1.50	◆本人が住民税課税で、合計所得金額が210万円以上320万円未満
第９段階	157,480円	1.70	◆本人が住民税課税で、合計所得金額が320万円以上430万円未満
第10段階	176,010円	1.90	◆本人が住民税課税で、合計所得金額が430万円以上

第８章　２０４０年までの中長期的な推計

１　介護サービス見込量の推計

（１）居宅（介護予防）サービスの見込量

【居宅介護サービス】

サービスの名称	単位	2025年度 (R7年度)	2030年度 (R12年度)	2035年度 (R17年度)	2040年度 (R22年度)
訪問介護	回数(回)	7,585.7	7,614.1	7,614.1	7,307.4
訪問入浴介護	回数(回)	16.8	16.8	16.8	16.8
訪問看護	回数(回)	299.1	299.1	299.1	299.1
訪問リハビリテーション	回数(回)	28.4	28.4	28.4	28.4
居宅療養管理指導	人数(人)	58	58	58	56
通所介護	回数(回)	1,351.6	1,351.6	1,351.6	1,318.6
通所リハビリテーション	回数(回)	1,537.7	1,525.8	1,525.8	1,483.5
短期入所生活介護	日数(日)	1,654.6	1,654.6	1,654.6	1,608.5
短期入所療養介護（老健）	日数(日)	33.2	33.2	33.2	33.2
短期入所療養介護（病院等）	日数(日)	0.0	0.0	0.0	0.0
短期入所療養介護（介護医療院）	日数(日)	0.0	0.0	0.0	0.0
福祉用具貸与	人数(人)	241	240	240	232
特定福祉用具購入費	人数(人)	0	0	0	0
住宅改修費	人数(人)	0	0	0	0
特定施設入居者生活介護	人数(人)	6	6	6	6
居宅介護支援	人数(人)	464	463	463	448

※回数（回）は１月当たりの数、人数（人）は１月当たりの利用者数

【介護予防サービス】

サービスの名称	単位	2025年度 (R7年度)	2030年度 (R12年度)	2035年度 (R17年度)	2040年度 (R22年度)
介護予防訪問入浴介護	回数(回)	0.0	0.0	0.0	0.0
介護予防訪問看護	回数(回)	0.0	0.0	0.0	0.0
介護予防訪問リハビリテーション	回数(回)	0.0	0.0	0.0	0.0
介護予防居宅療養管理指導	人数(人)	0	0	0	0
介護予防通所リハビリテーション	人数(人)	18	19	20	19
介護予防短期入所生活介護	日数(日)	0.0	0.0	0.0	0.0
介護予防短期入所療養介護(老健)	日数(日)	0.0	0.0	0.0	0.0
介護予防短期入所療養介護(病院等)	日数(日)	0.0	0.0	0.0	0.0
介護予防短期入所療養介護(介護医療院)	日数(日)	0.0	0.0	0.0	0.0
介護予防福祉用具貸与	人数(人)	8	8	8	7
特定介護予防福祉用具購入費	人数(人)	0	0	0	0
介護予防住宅改修	人数(人)	0	0	0	0
介護予防特定施設入居者生活介護	人数(人)	0	0	0	0
介護予防支援	人数(人)	22	23	25	23

※回数（回）は１月当たりの数、人数（人）は１月当たりの利用者数

（２）地域密着型（介護予防）サービスの見込量

【地域密着型サービス】

サービスの名称	単位	2025年度 (R7年度)	2030年度 (R12年度)	2035年度 (R17年度)	2040年度 (R22年度)
認知症対応型通所介護	回数(回)	0.0	0.0	0.0	0.0
認知症対応型共同生活介護	人数(人)	47	47	47	46
地域密着型通所介護	回数(回)	207.2	207.2	207.2	200.0

※回数（回）は１月当たりの数、人数（人）は１月当たりの利用者数

【地域密着型介護予防サービス】

サービスの名称	単位	2025年度 (R7年度)	2030年度 (R12年度)	2035年度 (R17年度)	2040年度 (R22年度)
介護予防認知症対応型通所介護	回数(回)	0	0	0	0
介護予防小規模多機能型居宅介護	人数(人)	0	0	0	0
介護予防認知症対応型共同生活介護	人数(人)	0	0	0	0

※回数（回）は１月当たりの数、人数（人）は１月当たりの利用者数

２　総事業費の推計

２０２５（令和７）年度から２０４０（令和２２）年度にかけて、高齢者人口は減少するものの、介護ニーズの高い後期高齢者の比率は上昇が見込まれます。自然推計によると、総事業費は同程度での推移が見込まれますが、介護予防事業及び認知症施策の推進による効果を反映し、総事業費を次のとおり推計しました。

【総事業費推計】　（単位：千円）

	2025年度 (R7年度)	2030年度 (R12年度)	2035年度 (R17年度)	2040年度 (R22年度)
標準給付費見込額	1,846,035	1,842,807	1,839,682	1,800,627
地域支援事業費	60,225	57,083	52,520	47,876
総事業費	1,906,260	1,899,890	1,892,202	1,848,503

３　保険料基準月額の推計

２の総事業費を基に、２０２５（令和７）年度、２０３０（令和１２）年度、２０３５（令和１７）年度及び２０４０（令和２２）年度の保険料基準月額を次のとおり推計しました。

【基準月額推計】

	第８期	2025年度 (R7年度)	2030年度 (R12年度)	2035年度 (R17年度)	2040年度 (R22年度)
基準月額	7,720円	9,150円	10,050円	11,200円	11,430円
増　　減	ー	1,430円 (18.5%)増	900円 (9.8%)増	1,150円 (11.4%)増	230円 (2.1%)増

資　料　編

1　三戸町介護保険事業計画等推進協議会委員名簿

区　　分	所　　属	氏　　名	備　考
医療関係者	八戸市医師会副会長	田　島　剛　一	
	三戸郡歯科医師会理事	松　尾　將　之	
	みちしり調剤薬局薬局長	道　尻　謹　子	
保健関係者	保健協力員代表	加　藤　弘　明	
福祉関係者	三戸町社会福祉協議会会長	関　向　文　男	
	特別養護老人ホーム鶴亀荘事務長	大久保　美　佐	
	老人保健施設ほほえみ三戸理事長	諏訪内　三千雄	副会長
有識者	国保運営協議会会長	伊　達　よしえ	会　長
	民生委員児童委員協議会会長	藤　村　立　夫	
	議会民生商工常任委員会委員長	藤　原　文　雄	
被保険者代表	第１号被保険者	萩　原　洋　子	
	第２号被保険者	佐　藤　栄　子	
三戸町	住民福祉課課長	中　村　　正	
	三戸中央病院院長	東　山　明　弘	
	三戸中央病院総看護師長	中　村　恵美子	
	三戸中央病院事務長	馬　場　　均	

区　　分	所　　属		職	氏　　名	備　考
事務局	健康推進課		課　長	井　畑　淳　一	
			推進監	太　田　明　雄	
		高齢者支援班	主　幹	石　川　幸　代	
			主　査	山　田　孝　介	
			〃	戸　川　拓　耶	
			〃	佐　上　浩　史	
			総括保健師長	松　原　幸　子	
			保健師長	田　中　尚　恵	
			保健師	赤　石　遥　香	
		健康づくり班	班　長	坂　本　　猛	
			保健師長	佐々木　宗　子	

２　協議会の開催状況

開　催　日	審　　議　　案　　件
平成２年７月30日	第１回 (1) 令和元年度事業報告について (2) その他 ・介護保険条例の改正について ・介護予防・日常生活圏域ニーズ調査（健康とくらしの調査）の調査結果について
令和３年１月８日	第２回 (1) 第８期介護保険事業計画及び高齢者福祉計画について ① 総人口及び被保険者数の推計について ② 要介護認定者数の推計について ③ 介護保険サービス見込量について ④ 第１号被保険者介護保険料の段階について ⑤ 第１号被保険者介護保険料の額について ⑥ 施設の整備について (2) その他
令和３年２月４日	第３回 (1) 第８期介護保険事業計画・老人福祉計画に係る答申（案）について (2) その他
令和３年３月25日	第４回 (1) 三戸町介護保険条例の一部を改正する条例について (2) 三戸町高齢者福祉計画・第８期介護保険事業計画について (3) 令和３年度三戸町地域包括支援センター活動計画(案) (4) その他

３　第８期介護保険事業計画・老人福祉計画の諮問に対する答申内容

（①～⑥が町長からの諮問事項）

①　総人口及び被保険者数の推計について

概ね適正なものと認められる。

②　要介護認定者数の推計について

概ね適正なものと認められる。

③　介護保険サービス見込量について

概ね適正なものと認められる。

④　第１号被保険者介護保険料の段階について

概ね適正なものと認められる。

⑤　第１号被保険者介護保険料の額について

概ね適正なものと認められる。

⑥　施設の整備について

第８期計画期間内に高齢者人口が減少に転じると予測されることから、今後の人口構造の変化を見据えつつ、適切なサービス提供の在り方を踏まえ、新たな施設整備を行わないこととしたことは妥当である。

４　介護予防・日常生活圏域ニーズ調査について

【調査方法】

①　調査対象　　令和元年８月２８日現在、６５歳以上で、介護保険の「要介護」認定を受けていない方

②　圏域設定　　「三戸地区」、「留崎地区」、「斗川地区」、「猿辺地区」の４圏域

③　抽 出 数　　１，１９７人

④　抽出方法　　無作為抽出

⑤　回収方法　　郵便回収

【回答状況】

８０２人（回答率：６６．８％）

【回答者の属性】

①　年齢別

「65～69歳」の回答者が30.2%と最も多く、次いで「70～74歳」が23.6%、「75～79歳」が22.1%となっています。

選択項目	人数	構成比
６５～６９歳	242	30.2%
７０～７４歳	189	23.6%
７５～７９歳	177	22.1%
８０～８４歳	114	14.2%
８５歳以上	80	10.0%
合　　計	802	

②　性　別

「男性」の割合が42.0%、「女性」が58.0%となっています。

選択項目	人数	構成比
男性	337	42.0%
女性	465	58.0%
合　　計	802	

③　圏域別

「三戸地区」の割合が27.1%、次いで「留崎地区」が25.9%、「斗川地区」が23.7%、「猿辺地区」が22.7%となっています。

選択項目	人数	構成比
三戸地区	217	27.1%
留崎地区	208	25.9%
斗川地区	190	23.7%
猿辺地区	182	22.7%
猿辺地区	5	0.6%
合　　計	802	

【調査結果】

問１　あなたの身体状況についておうかがいします。

１）現在のあなたの健康状態はいかがですか。

「まあよい」の割合が67.3%と最も高く、次いで「とてもよい」が14.1%となっています。

選択項目	人数	構成比
とてもよい	113	14.1%
まあよい	540	67.3%
あまりよくない	110	13.7%
よくない	23	2.9%
無回答	16	2.0%
合　　計	802	

２）あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか。

「介護・介助は必要ない」の割合が81.5%と最も高くなっています。

選択項目	人数	構成比
介護・介助は必要ない	654	81.5%
何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない	49	6.1%
介護・介助が必要で介護・介助を受けている	29	3.6%
無回答	70	8.7%
合　　計	802	

３）あなたは現在、健康上の問題で日常生活に何か影響がありますか。
（たとえば起床･衣服着脱･食事･入浴などの日常生活動作、外出、仕事･学業、運動など）

「ない」の割合が82.0%と最も高くなっています。

選択項目	人数	構成比
ある	106	13.2%
ない	658	82.0%
無回答	38	4.7%
合　　計	802	

４）現在治療中、または後遺症のある病気にあてはまる番号すべてに○をつけてください。

「高血圧」の割合が48.5%と最も高く、次いで「目の病気」が24.7%、「筋骨格の病気（骨粗しょう症、関節症等）」が17.8%となっています。

選択項目	人数	構成比
ない	115	14.3%
高血圧	389	48.5%
脳卒中（脳出血・脳梗塞等）	24	3.0%
心臓病	84	10.5%
糖尿病	120	15.0%
高脂血症（脂質異常）	97	12.1%
呼吸器の病気（肺炎や気管支炎等）	30	3.7%
胃腸･肝臓･胆のうの病気	36	4.5%
腎臓・前立腺の病気	48	6.0%
筋骨格の病気（骨粗しょう症、関節症等）	143	17.8%
外傷（転倒・骨折等）	23	2.9%
がん（悪性新生物）	27	3.4%
血液・免疫の病気	11	1.4%
うつ病	8	1.0%
認知症（アルツハイマー病等）	11	1.4%
パーキンソン病	6	0.7%
目の病気	198	24.7%
耳の病気	38	4.7%
その他	51	6.4%
無回答	32	4.0%
合　　計	1,491	

５）現在ご自身の歯は何本残っていますか。さし歯や金属をかぶせた歯も自分の歯に含めます。なお、成人の歯の総本数は、親知らずを含めて３２本です。

「19本以上」の割合が29.6%と最も高く、次いで「０本」が23.9%となっています。

選択項目	人数	構成比
０本	192	23.9%
１～４本	69	8.6%
５～９本	99	12.3%
10～19本	157	19.6%
20本以上	237	29.6%
無回答	48	6.0%
合　　計	802	

６）「入れ歯（義歯）」などを使っていますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「まあよい」の割合が67.3%と最も高く、次いで「とてもよい」が14.1%となっています。

選択項目	人数	構成比
使っていない	176	21.9%
入れ歯	512	63.8%
ブリッジ（取り外しできない入れ歯）	88	11.0%
インプラント	20	2.5%
無回答	29	3.6%
合　　計	825	

【６）で「入れ歯」と答えた方へ】毎日入れ歯の手入れをしていますか。

「はい」の割合が91.2%と最も高くなっています。

選択項目	人数	構成比
はい	467	91.2%
いいえ	35	6.8%
無回答	10	2.0%
合　　計	512	

７）あなたは今までに、職場や保健センター、医療機関などで、健診や人間ドックを受けましたか。

「１年以内に受けた」の割合が56.5%と最も高く、次いで「受けていない」が17.1%となっています。

選択項目	人数	構成比
１年以内に受けた	453	56.5%
１年～４年前に受けた	120	15.0%
４年以上前に受けた	63	7.9%
受けていない	137	17.1%
無回答	29	3.6%
合　　計	802	

問２　食事・飲酒・喫煙状況に関することについておうかがいします。

１）半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。

「いいえ」の割合が67.8%、「はい」が29.4%となっています。

選択項目	人数	構成比
はい	236	29.4%
いいえ	544	67.8%
無回答	22	2.7%
合　　計	802	

２）お茶や汁物などでむせることがありますか。

「いいえ」の割合が78.6%、「はい」が18.3%となっています。

選択項目	人数	構成比
はい	147	18.3%
いいえ	630	78.6%
無回答	25	3.1%
合　　計	802	

３）口の渇きが気になりますか。

「いいえ」の割合が77.8%、「はい」が17.7%となっています。

選択項目	人数	構成比
はい	142	17.7%
いいえ	624	77.8%
無回答	36	4.5%
合　　計	802	

４）ここ１ヶ月の間に、あなたは、肉や魚をどのくらいの頻度で食べていますか。

「毎日１回」の割合が41.0%と最も高く、次いで「週４～６回」が19.2%、「週２～３回」が16.7%、「毎日２回以上」が16.2%となっています。

選択項目	人数	構成比
毎日２回以上	130	16.2%
毎日１回	329	41.0%
週４～６回	154	19.2%
週２～３回	134	16.7%
週１回	19	2.4%
週１回未満	10	1.2%
食べなかった	2	0.2%
無回答	24	3.0%
合　　計	802	

５）ここ１ヶ月の間に、あなたは、野菜や果物をどのくらいの頻度で食べていますか。

「毎日２回以上」の割合が50.9%と最も高く、次いで「毎日１回」が28.7%、「週４～６回」が10.7%となっています。

選択項目	人数	構成比
毎日２回以上	408	50.9%
毎日１回	230	28.7%
週４～６回	86	10.7%
週２～３回	46	5.7%
週１回	3	0.4%
週１回未満	5	0.6%
食べなかった	2	0.2%
無回答	22	2.7%
合　　計	802	

６）お酒を飲みますか。

「もともと飲まない」の割合が52.6%と最も高く、次いで「現在飲んでいる」が29.1%となっています。

選択項目	人数	構成比
現在飲んでいる	233	29.1%
５年以内にやめて今は飲んでいない	40	5.0%
５年以上前にやめて今は飲んでいない	68	8.5%
もともと飲まない	422	52.6%
無回答	39	4.9%
合　　計	802	

７）タバコは吸いますか（加熱式タバコ、電子タバコ等を含みます）。

「もともと吸わない」の割合が66.1%と最も高く、次いで「５年以上前にやめて今は吸っていない」が15.8%となっています。

選択項目	人数	構成比
ほぼ毎日吸っている	76	9.5%
時々吸っている	13	1.6%
５年以内にやめて今は吸っていない	36	4.5%
５年以上前にやめて今は吸っていない	127	15.8%
もともと吸わない	530	66.1%
無回答	20	2.5%
合　　計	802	

８）食事は誰とすることが多いですか。あてはまる番号すべてに〇をつけてください。

「配偶者」の割合が60.1%と最も高く、次いで「子ども」が30.4%、「ひとり」が22.3%となっています。

選択項目	人数	構成比
ひとり	179	22.3%
配偶者	482	60.1%
子ども	244	30.4%
孫	126	15.7%
友人	24	3.0%
その他	50	6.2%
無回答	19	2.4%
合　　計	1,124	

９）どなたかと一緒に食事をする機会はありますか。

「毎日ある」の割合が34.8%と最も高く、次いで「年に何度かある」が23.7%、「月に何度かある」が14.8%となっています。

選択項目	人数	構成比
毎日ある	279	34.8%
週に何度かある	71	8.9%
月に何度かある	119	14.8%
年に何度かある	190	23.7%
ほとんどない	106	13.2%
無回答	37	4.6%
合　　計	802	

問３　あなたの普段の外出や日常の行動についておうかがいします。

１）あなたが外出する頻度はどのくらいですか（畑や隣近所へ行く、買い物、通院などを含みます）。

「週に５回以上」の割合が57.9%と最も高く、次いで「週２～３回」が19.5%となっています。

選択項目	人数	構成比
週に５回以上	464	57.9%
週４回	67	8.4%
週２～３回	156	19.5%
週１回	39	4.9%
月１～３回	39	4.9%
年に数回	12	1.5%
していない	7	0.9%
無回答	18	2.2%
合　　計	802	

２）昨年と比べて外出の回数は減っていますか。

「減っていない」の割合が49.0%と最も高く、次いで「あまり減っていない」が32.0% となっています。

選択項目	人数	構成比
とても減っている	14	1.7%
減っている	121	15.1%
あまり減っていない	257	32.0%
減っていない	393	49.0%
無回答	17	2.1%
合　　計	802	

３）あなたが外出する時に利用している交通手段すべてに○をつけてください。

「自動車（自分で運転）」の割合が59.0%と最も高く、次いで「徒歩」が37.9%、「自動車（人に乗せてもらう）」が29.8%となっています。

選択項目	人数	構成比
徒歩	304	37.9%
自転車	53	6.6%
バイク	32	4.0%
自動車（自分で運転）	473	59.0%
自動車(人に乗せてもらう)	239	29.8%
電車	37	4.6%
路線バス	133	16.6%
病院や施設のバス	19	2.4%
車いす	2	0.2%
電動車いす（カート）	1	0.1%
歩行器・シルバーカー	11	1.4%
タクシー	70	8.7%
コミュニティバス	46	5.7%
その他	10	1.2%
無回答	10	1.2%
合　　計	1,440	

４）過去１年間に転んだ経験がありますか。

「ない」の割合が65.3%と最も高く、次いで、「１度ある」が22.7%、「何度もある」が9.0%となっています。

選択項目	人数	構成比
何度もある	72	9.0%
１度ある	182	22.7%
ない	524	65.3%
無回答	24	3.0%
合　　計	802	

５）転倒に対する不安は大きいですか。

「やや不安である」の割合が30.8%と最も高く、次いで「不安でない」が26.7%、「あまり不安でない」が26.2%となっています。

選択項目	人数	構成比
とても不安である	98	12.2%
やや不安である	247	30.8%
あまり不安でない	210	26.2%
不安でない	214	26.7%
無回答	33	4.1%
合　　計	802	

６）階段を手すりや壁をつたわらずに昇っていますか。

「できるし、している」の割合が57.4%と最も高くなっています。

選択項目	人数	構成比
できるし、している	460	57.4%
できるけどしていない	175	21.8%
できない	137	17.1%
無回答	30	3.7%
合　　計	802	

７）椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。

「できるし、している」の割合が73.6%と最も高くなっています。

選択項目	人数	構成比
できるし、している	590	73.6%
できるけどしていない	108	13.5%
できない	81	10.1%
無回答	23	2.9%
合　　計	802	

８）平均すると１日の合計で何分くらい歩きますか。

「30分未満」の割合が34.0%と最も高く、次いで「30～59分」が24.6%となっています。

選択項目	人数	構成比
30分未満	273	34.0%
30～59分	197	24.6%
60～89分	105	13.1%
90分以上	172	21.4%
無回答	55	6.9%
合　　計	802	

問４　日常生活についておうかがいします。

１）バスや電車を使って１人で外出していますか（自家用車でも可）。

「できるし、している」の割合が80.2%と最も高くなっています。

選択項目	人数	構成比
できるし、している	643	80.2%
できるけどしていない	79	9.9%
できない	60	7.5%
無回答	20	2.5%
合　　計	802	

２）自分で食品・日用品の買い物をしていますか。

「できるし、している」の割合が79.7%と最も高く、次いで「できるけどしていない」が13.3%となっています。

選択項目	人数	構成比
できるし、している	639	79.7%
できるけどしていない	107	13.3%
できない	38	4.7%
無回答	18	2.2%
合　　計	802	

３）自分で食事の用意をしていますか。

「できるし、している」の割合が69.5%と最も高く、次いで「できるけどしていない」が22.2%となっています。

選択項目	人数	構成比
できるし、している	557	69.5%
できるけどしていない	178	22.2%
できない	50	6.2%
無回答	17	2.1%
合　　計	802	

４）自分で請求書の支払いをしていますか。

「できるし、している」の割合が80.4%と最も高く、次いで「できるけどしていない」が12.2%となっています。

選択項目	人数	構成比
できるし、している	645	80.4%
できるけどしていない	98	12.2%
できない	41	5.1%
無回答	18	2.2%
合　　計	802	

５）自分で預貯金の出し入れをしていますか。

「できるし、している」の割合が81.4%と最も高く、次いで「できるけどしていない」が11.2%となっています。

選択項目	人数	構成比
できるし、している	653	81.4%
できるけどしていない	90	11.2%
できない	46	5.7%
無回答	13	1.6%
合　　計	802	

６）年金などの書類（役所や病院などに出す書類）が書けますか。

「はい」の割合が84.5%、「いいえ」が13.2%となっています。

選択項目	人数	構成比
はい	678	84.5%
いいえ	106	13.2%
無回答	18	2.2%
合　　計	802	

７）新聞を読んでいますか。

「はい」の割合が74.7%、「いいえ」が22.4%となっています。

選択項目	人数	構成比
はい	599	74.7%
いいえ	180	22.4%
無回答	23	2.9%
合　　計	802	

８）本や雑誌を読んでいますか。

「はい」の割合が62.7%、「いいえ」が33.4%となっています。

選択項目	人数	構成比
はい	503	62.7%
いいえ	268	33.4%
無回答	31	3.9%
合　　計	802	

９）健康についての記事や番組に関心がありますか。

「はい」の割合が85.8%、「いいえ」が11.1%となっています。

選択項目	人数	構成比
はい	688	85.8%
いいえ	89	11.1%
無回答	25	3.1%
合　　計	802	

10）友達の家を訪ねることがありますか。

「はい」の割合が62.0%、「いいえ」が35.4%となっています。

選択項目	人数	構成比
はい	497	62.0%
いいえ	284	35.4%
無回答	21	2.6%
合　　計	802	

11）家族や友だちの相談にのることがありますか。

「はい」の割合が72.9%、「いいえ」が23.2%となっています。

選択項目	人数	構成比
はい	585	72.9%
いいえ	186	23.2%
無回答	31	3.9%
合　　計	802	

12）病人を見舞うことができますか。

「はい」の割合が86.1%、「いいえ」が10.8%となっています。

選択項目	人数	構成比
はい	689	85.9%
いいえ	86	10.7%
無回答	27	3.4%
合　　計	802	

13）若い人に自分から話しかけることがありますか。

「はい」の割合が77.8%、「いいえ」が18.6%となっています。

選択項目	人数	構成比
はい	624	77.8%
いいえ	149	18.6%
無回答	29	3.6%
合　　計	802	

14）１５分位続けて歩いていますか。

「できるし、している」の割合が71.1%と最も高くなっています。

選択項目	人数	構成比
できるし、している	570	71.1%
できるけどしていない	165	20.6%
できない	47	5.9%
無回答	20	2.5%
合　　計	802	

15）周りの人から「いつも同じ事を聞く」など物忘れがあるといわれますか。

「はい」の割合が15.6%、「いいえ」が81.5%となっています。

選択項目	人数	構成比
はい	125	15.6%
いいえ	654	81.5%
無回答	23	2.9%
合　　計	802	

16）自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか。

「はい」の割合が91.1%、「いいえ」が6.9%となっています。

選択項目	人数	構成比
はい	731	91.1%
いいえ	55	6.9%
無回答	16	2.0%
合　　計	802	

17）今日が何月何日かわからない時がありますか。

「いいえ」の割合が67.5%、「はい」が30.7%となっています。

選択項目	人数	構成比
はい	246	30.7%
いいえ	541	67.5%
無回答	15	1.9%
合　　計	802	

18）物忘れが多いと感じますか。

「はい」の割合が41.8%、「いいえ」が54.6%となっています。

選択項目	人数	構成比
はい	335	41.8%
いいえ	438	54.6%
無回答	29	3.6%
合　　計	802	

19）認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか。

「はい」の割合が12.6%、「いいえ」が84.4%となっています。

選択項目	人数	構成比
はい	101	12.6%
いいえ	677	84.4%
無回答	24	3.0%
合　　計	802	

20）認知症に関する相談窓口を知っていますか。

「はい」の割合が37.8%、「いいえ」が60.2%となっています。

選択項目	人数	構成比
はい	303	37.8%
いいえ	483	60.2%
無回答	16	2.0%
合　　計	802	

問５　趣味・おけいこ事についておうかがいします。

１）趣味はありますか。

「はい」の割合が72.2%、「いいえ」 が21.7%となっています。

選択項目	人数	構成比
はい	579	72.2%
いいえ	174	21.7%
無回答	49	6.1%
合　　計	802	

２）あなたが行っている趣味は何ですか。あてはまる番号すべてに〇をつけてください。

「園芸・庭いじり」の割合が49.4%と最も高く、次いで「農作物の栽培」が48.5%、「散歩・ジョギング」が23.3%となっています。

選択項目	人数	構成比
グラウンドゴルフ	23	4.0%
ゴルフ	13	2.2%
ゲートボール	1	0.2%
散歩・ジョギング	135	23.3%
体操・太極拳	27	4.7%
ジム・フィットネス	2	0.3%
舞踊・ダンス	24	4.1%
釣り	65	11.2%
登山	27	4.7%
卓球	13	2.2%
テニス	2	0.3%
その他の運動	33	5.7%
旅行	111	19.2%
園芸・庭いじり	286	49.4%
農作物の栽培	281	48.5%
読書	108	18.7%
カラオケ	55	9.5%
音楽鑑賞	58	10.0%
詩吟・民謡	7	1.2%
映画・舞台鑑賞	62	10.7%
書道	21	3.6%

茶道・華道	13	2.2%
写真撮影	37	6.4%
絵画・絵手紙	17	2.9%
俳句・川柳など	12	2.1%
手工芸	88	15.2%
パチンコ	50	8.6%
囲碁・将棋・麻雀	15	2.6%
パソコン	37	6.4%
インターネット	26	4.5%
SNS(ソーシャルネットワーキングサービス)	2	0.3%
インターネットのフリーマーケットやオークション	4	0.7%
テレビゲーム・スマホゲーム	2	0.3%
その他の活動	32	5.5%
無回答	7	1.2%
合　　計	1,696	

問６　参加している会やグループ、仕事についておうかがいします。

１）あなたは下記のような会・グループにどのくらいの頻度で参加していますか。

(1) ボランティアのグループ

「参加していない」の割合が63.2%と最も高くなっています。

選択項目	人数	構成比
週４回以上	6	0.7%
週２～３回	7	0.9%
週１回	9	1.1%
月１～３回	21	2.6%
年に数回	63	7.9%
参加していない	507	63.2%
無回答	189	23.6%
合　　計	802	

(2) スポーツ関係のグループやクラブ

「参加していない」の割合が65.0%と最も高くなっています。

選択項目	人数	構成比
週４回以上	9	1.1%
週２～３回	15	1.9%
週１回	22	2.7%
月１～３回	4	0.5%
年に数回	28	3.5%
参加していない	521	65.0%
無回答	203	25.3%
合　　計	802	

(3) 趣味関係のグループ

「参加していない」の割合が57.5%と最も高くなっています。

選択項目	人数	構成比
週４回以上	15	1.9%
週２～３回	24	3.0%
週１回	22	2.7%
月１～３回	34	4.2%
年に数回	58	7.2%
参加していない	461	57.5%
無回答	188	23.4%
合　　計	802	

(4) 老人クラブ

「参加していない」の割合が64.6%と最も高く、次いで、「年に数回」が11.3%となっています。

選択項目	人数	構成比
週４回以上	0	0.0%
週２～３回	0	0.0%
週１回	7	0.9%
月１～３回	11	1.4%
年に数回	91	11.3%
参加していない	518	64.6%
無回答	175	21.8%
合　　計	802	

(5) 町内会・自治会

「参加していない」の割合が45.3%と最も高く、次いで、「年に数回」が28.1%となっています。

選択項目	人数	構成比
週４回以上	0	0.0%
週２～３回	3	0.4%
週１回	9	1.1%
月１～３回	26	3.2%
年に数回	225	28.1%
参加していない	363	45.3%
無回答	176	21.9%
合　　計	802	

⑹ 学習・教養サークル

「参加していない」の割合が70.1%と最も高くなっています。

選択項目	人数	構成比
週４回以上	3	0.4%
週２～３回	2	0.2%
週１回	6	0.7%
月１～３回	9	1.1%
年に数回	29	3.6%
参加していない	562	70.1%
無回答	191	23.8%
合　　計	802	

⑺ 健康体操やサロンなどの介護予防のための通いの場

「参加していない」の割合が67.2%と最も高くなっています。

選択項目	人数	構成比
週４回以上	3	0.4%
週２～３回	7	0.9%
週１回	31	3.9%
月１～３回	16	2.0%
年に数回	27	3.4%
参加していない	539	67.2%
無回答	179	22.3%
合　　計	802	

⑻ 特技や経験を他者に伝える活動

「参加していない」の割合が69.7%と最も高くなっています。

選択項目	人数	構成比
週４回以上	5	0.6%
週２～３回	5	0.6%
週１回	3	0.4%
月１～３回	8	1.0%
年に数回	31	3.9%
参加していない	559	69.7%
無回答	191	23.8%
合　　計	802	

⑼ 収入のある仕事

「していない」の割合が42.1%と最も高く、次いで、「週４回以上」が24.4%となっています。

選択項目	人数	構成比
週４回以上	196	24.4%
週２～３回	27	3.4%
週１回	6	0.7%
月１～３回	23	2.9%
年に数回	67	8.4%
していない	338	42.1%
無回答	145	18.1%
合　　計	802	

２） １）の(1)～(9)のうち、ただ参加するだけではなく運営に関わっている活動グループはどれですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

「いずれもない」の割合が42.5%と最も高く、次いで「収入のある仕事」が17.3%、「町内会・自治会」が10.6%となっています。

選択項目	人数	構成比
ボランティア	19	2.4%
スポーツ	15	1.9%
趣味	28	3.5%
老人クラブ	55	6.9%
町内会・自治会	85	10.6%
学習・教養サークル	9	1.1%
介護予防・健康づくり	19	2.4%
特技や経験を他者に伝える	15	1.9%
収入のある仕事	139	17.3%
いずれもない	341	42.5%
無回答	179	22.3%
合　　計	904	

３）地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営（お世話役）として参加したいと思いますか。

「参加したくない」の割合が52.7%と最も高く、次いで「参加してもよい」が26.2%となっています。

選択項目	人数	構成比
是非参加したい	14	1.7%
参加してもよい	210	26.2%
参加したくない	423	52.7%
すでに参加している	39	4.9%
無回答	116	14.5%
合　　計	802	

４）地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加したいと思いますか。

「参加してもよい」の割合が38.8%と最も高く、次いで「参加したくない」が38.4%となっています。

選択項目	人数	構成比
是非参加したい	17	2.1%
参加してもよい	311	38.8%
参加したくない	308	38.4%
すでに参加している	49	6.1%
無回答	117	14.6%
合　　計	802	

問７　あなたの友人関係についておうかがいします。

１）友人・知人と会う頻度はどれくらいですか。

「年に数回」の割合が19.8%と最も高く、次いで「月１～３回」が18.5%、「週に２～３回」が17.1%となっています。

選択項目	人数	構成比
週４回以上	125	15.6%
週２～３回	137	17.1%
週１回	96	12.0%
月１～３回	148	18.5%
年に数回	159	19.8%
会っていない	77	9.6%
無回答	60	7.5%
合　　計	802	

２）この１か月間、何人の友人・知人と会いましたか。同じ人には何度会っても１人と数えてください。

「１０人以上」の割合が27.3%と最も高く、次いで「３～５人」が25.3%、「１～２人」が19.6%となっています。

選択項目	人数	構成比
０人　（いない）	70	8.7%
１～２人	157	19.6%
３～５人	203	25.3%
６～９人	98	12.2%
１０人以上	219	27.3%
無回答	55	6.9%
合　　計	802	

３）よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

「近所・同じ地域の人」の割合が64.6%と最も高く、次いで「仕事での同僚・元同僚」が30.5%、「趣味や関心が同じ友人」が23.3%となっています。

選択項目	人数	構成比
近所・同じ地域の人	518	64.6%
幼なじみ	79	9.9%
学生時代の友人	119	14.8%
仕事での同僚・元同僚	245	30.5%
趣味や関心が同じ友人	187	23.3%
ボランティアなどの活動での友人	37	4.6%
その他	86	10.7%
いない	43	5.4%
無回答	50	6.2%
合　　計	1,364	

問８　あなたとまわりの人の「たすけあい」と「笑い」についておうかがいします。

１）あなたの心配事や愚痴（ぐち）を聞いてくれる人はいますか（あてはまるすべてに○）。

「配偶者」の割合が49.3%と最も高く、次いで「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が38.5%となっています。

選択項目	人数	構成比
配偶者	395	49.3%
同居の子ども	168	20.9%
別居の子ども	221	27.6%
兄弟姉妹･親戚･親･孫	309	38.5%
近隣	145	18.1%
友人	270	33.7%
その他	21	2.6%
そのような人はいない	44	5.5%
無回答	41	5.1%
合　　計	1,614	

２）反対に、あなたが心配事や愚痴（ぐち）を聞いてあげる人はいますか（あてはまるすべてに○）。

「配偶者」の割合が44.9%と最も高く、次いで「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が38.4%となっています。

選択項目	人数	構成比
配偶者	360	44.9%
同居の子ども	136	17.0%
別居の子ども	201	25.1%
兄弟姉妹･親戚･親･孫	308	38.4%
近隣	166	20.7%
友人	267	33.3%
その他	19	2.4%
そのような人はいない	75	9.4%
無回答	49	6.1%
合　　計	1,581	

３）あなたが病気で数日間寝込んだときに看病や世話をしてくれる人はいますか（あてはまるすべてに○）。

「配偶者」の割合が57.2%と最も高く、次いで「同居の子ども」が33.5%となっています。

選択項目	人数	構成比
配偶者	459	57.2%
同居の子ども	269	33.5%
別居の子ども	247	30.8%
兄弟姉妹･親戚･親･孫	214	26.7%
近隣	22	2.7%
友人	28	3.5%
その他	19	2.4%
そのような人はいない	35	4.4%
無回答	28	3.5%
合　　計	1,321	

４）反対に、看病や世話をしてあげる人はいますか（あてはまるすべてに○）。

「配偶者」の割合が46.9%と最も高く、次いで「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が28.7%となっています。

選択項目	人数	構成比
配偶者	376	46.9%
同居の子ども	152	19.0%
別居の子ども	148	18.5%
兄弟姉妹･親戚･親･孫	230	28.7%
近隣	24	3.0%
友人	28	3.5%
その他	11	1.4%
そのような人はいない	181	22.6%
無回答	57	7.1%
合　　計	1,207	

５）あなたに何か困りごとがあったときに相談できる人や窓口はありますか（あてはまるすべてに○）。

「同居家族」の割合が62.7%と最も高く、次いで「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が45.5%、「別居の子ども」が43.9%となっています。

選択項目	人数	構成比
同居家族	503	62.7%
別居の子ども	352	43.9%
兄弟姉妹･親戚･親･孫	365	45.5%
近隣・友人	157	19.6%
自治会・町内会・老人クラブ	12	1.5%
社会福祉協議会･民生委員	67	8.4%
ケアマネジャー	41	5.1%
医師･歯科医師･看護師	73	9.1%
地域包括支援センター・役所・役場	68	8.5%
その他	5	0.6%
そのような人はいない	42	5.2%
無回答	30	3.7%
合　　計	1,715	

６）普段の生活で、声を出して笑う機会はどのくらいありますか。

「ほぼ毎日」の割合が37.9%と最も高く、次いで「週に１～５回程度」が34.7%、「月に１～３回程度」が14.6%となっています。

選択項目	人数	構成比
ほぼ毎日	304	37.9%
週に１～５回程度	278	34.7%
月に１～３回程度	117	14.6%
ほとんどない	60	7.5%
無回答	43	5.4%
合　　計	802	

７）どんなときによく笑いますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

「テレビやビデオをみているとき」の割合が66.0%と最も高く、次いで「友人と話をしているとき」が56.9%となっています。

選択項目	人数	構成比
友人と話をしているとき	456	56.9%
夫婦で話をしているとき	311	38.8%
子供や孫と接しているとき	408	50.9%
テレビやビデオをみているとき	529	66.0%
ラジオを聞いているとき	144	18.0%
落語や芝居等を観に行ったとき	58	7.2%
漫画や雑誌をみているとき	46	5.7%
その他	28	3.5%
無回答	45	5.6%
合　　計	2,025	

問９　あなたの住んでいる地域についておうかがいします。

１）あなたの地域の人々は、一般的に信用できると思いますか。

「まあ信用できる」の割合が50.5%と最も高く、次いで「どちらともいえない」が23.3%となっています。

選択項目	人数	構成比
とても信用できる	125	15.6%
まあ信用できる	405	50.5%
どちらともいえない	187	23.3%
あまり信用できない	47	5.9%
全く信用できない	12	1.5%
無回答	26	3.2%
合　　計	802	

２）あなたの地域の人々は、多くの場合、他の人の役に立とうとすると思いますか。

「まあそう思う」の割合が40.4%と最も高く、次いで「どちらともいえない」が33.4%となっています。

選択項目	人数	構成比
とてもそう思う	71	8.9%
まあそう思う	324	40.4%
どちらともいえない	268	33.4%
あまりそう思わない	83	10.3%
全くそう思わない	20	2.5%
無回答	36	4.5%
合　　計	802	

３）あなたは現在住んでいる地域にどの程度愛着がありますか。

「まあ愛着がある」の割合が46.9%と最も高く、次いで「とても愛着がある」が24.8%となっています。

選択項目	人数	構成比
とても愛着がある	199	24.8%
まあ愛着がある	376	46.9%
どちらともいえない	145	18.1%
あまり愛着がない	40	5.0%
全く愛着がない	10	1.2%
無回答	32	4.0%
合　　計	802	

４）あなたは、地域内のご近所の方とどのようなおつきあいをされていますか。

「日常的に立ち話をする程度のつきあいはしている」の割合が47.6%と最も高くなっています。

選択項目	人数	構成比
たがいに相談したり日用品の貸し借りをするなど、生活面で協力し合っている人もいる	242	30.2%
日常的に立ち話をする程度のつきあいはしている	382	47.6%
あいさつ程度の最小限のつきあいしかしていない	141	17.6%
つきあいは全くしていない	12	1.5%
無回答	25	3.1%
合　　計	802	

５）あなたの家から徒歩圏内（おおむね１キロ以内）に、次のような場所はどのくらいありますか。

① 運動や散歩に適した公園や歩道

「ある程度ある」の割合が41.1%と最も高く、次いで「あまりない」が24.6%となっています。

選択項目	人数	構成比
たくさんある	82	10.2%
ある程度ある	330	41.1%
あまりない	197	24.6%
まったくない	125	15.6%
わからない	27	3.4%
無回答	41	5.1%
合　　計	802	

② 生鮮食料品（肉、魚、野菜、果物など）が手に入る商店・施設・移動販売

「ある程度ある」の割合が42.6%と最も高く、次いで「まったくない」が19.5%となっています。

選択項目	人数	構成比
たくさんある	153	19.1%
ある程度ある	342	42.6%
あまりない	110	13.7%
まったくない	156	19.5%
わからない	3	0.4%
無回答	38	4.7%
合　　計	802	

６）ふだんあなたはどのような方法で、生鮮食料品を入手していますか（あてはまるすべてに○）。

「自分で出かけて買い物」の割合が74.7%と最も高く、次いで「家族等に頼む」が28.4%、「家族等の送迎で買い物」が20.8%となっています。

選択項目	人数	構成比
自分で出かけて買い物	599	74.7%
家族等の送迎で買い物	167	20.8%
送迎サービスを利用し買い物	3	0.4%
家族等に頼む	228	28.4%
買い物代行サービス（家政婦等を含む）を利用	2	0.2%
宅配サービスを利用	30	3.7%
無回答	17	2.1%
合　　計	1,046	

７）あなたは図書館、本屋・書店をどのぐらいの頻度で利用しますか。

① 図書館を利用する頻度

「利用しない」の割合が75.9%と最も高く、次いで「年に数回」が13.2%となっています。

選択項目	人数	構成比
週２回以上	0	0.0%
週１回程度	5	0.6%
月１～３回	26	3.2%
年に数回	106	13.2%
利用しない	609	75.9%
無回答	56	7.0%
合　　計	802	

② 本屋・書店を利用する頻度

「利用しない」の割合が51.2%と最も高く、次いで「年に数回」が30.0%となっています。

選択項目	人数	構成比
週２回以上	4	0.5%
週１回程度	13	1.6%
月１～３回	70	8.7%
年に数回	241	30.0%
利用しない	411	51.2%
無回答	63	7.9%
合　　計	802	

問10　次の問を読んで、あてはまるものに○をつけてください。

１）今の生活に満足していますか。

「はい」の割合が75.2%、「いいえ」が21.1%となっています。

選択項目	人数	構成比
はい	603	75.2%
いいえ	169	21.1%
無回答	30	3.7%
合　計	802	

２）生きていても仕方がないという気持ちになることがありますか。

「はい」の割合が15.1%、「いいえ」が79.3%となっています。

選択項目	人数	構成比
はい	121	15.1%
いいえ	636	79.3%
無回答	45	5.6%
合　計	802	

３）毎日の活動力や世間に対する関心がなくなってきたように思いますか。

「はい」の割合が23.6%、「いいえ」が70.3%となっています。

選択項目	人数	構成比
はい	189	23.6%
いいえ	564	70.3%
無回答	49	6.1%
合　計	802	

４）生きているのがむなしいように感じますか。

「はい」の割合が11.8%、「いいえ」が82.5%となっています。

選択項目	人数	構成比
はい	95	11.8%
いいえ	662	82.5%
無回答	45	5.6%
合　計	802	

５）退屈に思うことがよくありますか。

「はい」の割合が21.9%、「いいえ」が71.7%となっています。

選択項目	人数	構成比
はい	176	21.9%
いいえ	575	71.7%
無回答	51	6.4%
合　　計	802	

６）普段は気分がよいですか。

「はい」の割合が76.8%、「いいえ」が16.5%となっています。

選択項目	人数	構成比
はい	616	76.8%
いいえ	132	16.5%
無回答	54	6.7%
合　　計	802	

７）なにか悪いことがおこりそうな気がしますか。

「はい」の割合が11.5%、「いいえ」が82.0%となっています。

選択項目	人数	構成比
はい	92	11.5%
いいえ	658	82.0%
無回答	52	6.5%
合　　計	802	

８）自分は幸せなほうだと思いますか。

「はい」の割合が81.5%、「いいえ」が13.0%となっています。

選択項目	人数	構成比
はい	654	81.5%
いいえ	104	13.0%
無回答	44	5.5%
合　　計	802	

９）どうしようもないと思うことがよくありますか。

「はい」の割合が34.7%、「いいえ」が60.0%となっています。

選択項目	人数	構成比
はい	278	34.7%
いいえ	481	60.0%
無回答	43	5.4%
合　　計	802	

10）外に出かけるよりも家にいることのほうが好きですか。

「はい」の割合が40.3%、「いいえ」が54.2%となっています。

選択項目	人数	構成比
はい	323	40.3%
いいえ	435	54.2%
無回答	44	5.5%
合　　計	802	

11）ほかの人より物忘れが多いと思いますか。

「はい」の割合が19.0%、「いいえ」が75.4%となっています。

選択項目	人数	構成比
はい	152	19.0%
いいえ	605	75.4%
無回答	45	5.6%
合　　計	802	

12）こうして生きていることはすばらしいと思いますか。

「はい」の割合が19.0%、「いいえ」が75.4%となっています。

選択項目	人数	構成比
はい	595	74.2%
いいえ	158	19.7%
無回答	49	6.1%
合　　計	802	

13）自分は活力が満ちていると感じますか。

「はい」の割合が47.3%、「いいえ」が44.9%となっています。

選択項目	人数	構成比
はい	379	47.3%
いいえ	360	44.9%
無回答	63	7.9%
合　　計	802	

14）こんな暮らしでは希望がないと思いますか。

「はい」の割合が19.1%、「いいえ」が74.1%となっています。

選択項目	人数	構成比
はい	153	19.1%
いいえ	594	74.1%
無回答	55	6.9%
合　　計	802	

15）ほかの人は、自分より裕福だと思いますか。

「はい」の割合が42.6%、「いいえ」が48.3%となっています。

選択項目	人数	構成比
はい	342	42.6%
いいえ	387	48.3%
無回答	73	9.1%
合　　計	802	

16）（ここ２週間）毎日の生活に充実感がない。

「はい」の割合が16.8%、「いいえ」が75.4%となっています。

選択項目	人数	構成比
はい	135	16.8%
いいえ	605	75.4%
無回答	62	7.7%
合　　計	802	

17）（ここ２週間）これまで楽しんでやれたことが楽しめなくなった。

「はい」の割合が15.1%、「いいえ」が78.2%となっています。

選択項目	人数	構成比
はい	121	15.1%
いいえ	627	78.2%
無回答	54	6.7%
合　　計	802	

18）（ここ２週間）以前は楽にできていたことが今ではおっくうに感じられる。

「はい」の割合が29.8%、「いいえ」が64.3%となっています。

選択項目	人数	構成比
はい	239	29.8%
いいえ	516	64.3%
無回答	47	5.9%
合　　計	802	

19）（ここ２週間）自分が役に立つ人間だとは思えない。

「はい」の割合が29.8%、「いいえ」が64.3%となっています。

選択項目	人数	構成比
はい	179	22.3%
いいえ	572	71.3%
無回答	51	6.4%
合　　計	802	

20）（ここ２週間）わけもなく疲れたような感じがする。

「はい」の割合が22.3%、「いいえ」が71.3%となっています。

選択項目	人数	構成比
はい	179	22.3%
いいえ	572	71.3%
無回答	51	6.4%
合　　計	802	

21）この１か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。

「はい」の割合が19.7%、「いいえ」が68.7%となっています。

選択項目	人数	構成比
はい	158	19.7%
いいえ	551	68.7%
無回答	93	11.6%
合　　計	802	

22）この１か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。

「はい」の割合が17.7%、「いいえ」が70.7%となっています。

選択項目	人数	構成比
はい	142	17.7%
いいえ	567	70.7%
無回答	93	11.6%
合　　計	802	

問11　あなた自身のことについておうかがいします。

１）性　別

２）年　齢

３）あなたの現在の身長と体重を教えてください（おおよその数値で結構です）。

１）～３）　略

４）この半年間に体重が２～３ｋｇ以上減少しましたか。

「いいえ」の割合が77.4%、「はい」が16.8%となっています。

選択項目	人数	構成比
はい	135	16.8%
いいえ	621	77.4%
無回答	46	5.7%
合　　計	802	

５）あなたは、現在どの程度幸せですか。
（「とても幸せ」を１０点、「とても不幸」を０点としてご記入ください）

「５点」の割合が22.3%と最も高く、次いで「８点」が16.6%、「７点」が15.7%となっています。

選択項目	人数	構成比
０点	6	0.7%
１点	5	0.6%
２点	8	1.0%
３点	12	1.5%
４点	21	2.6%
５点	179	22.3%
６点	70	8.7%
７点	126	15.7%
８点	133	16.6%
９点	56	7.0%
10点	100	12.5%
無回答	86	10.7%
合　　計	802	

６）あなたは今住んでいるところにどのくらいの間住んでいますか。

略

７）あなたが受けられた学校教育は何年間でしたか。

「６～９年」の割合が48.0%と最も高く、次いで「10～12年」が31.3%となっています。

選択項目	人数	構成比
６年未満	14	1.7%
６～９年	385	48.0%
10～12年	251	31.3%
13年以上	118	14.7%
その他	10	1.2%
無回答	24	3.0%
合　　計	802	

８）この１年間に起こったことについておうかがいします。あてはまるものすべてに○をつけてください。。

「とくに変化はなかった」の割合が36.0%と最も高く、次いで「家族や親しい親類・友人が他界した」が28.9%となっています。

選択項目	人数	構成比
仕事をはじめた	36	4.5%
仕事をやめた	36	4.5%
子どもと同居を始めた	20	2.5%
一人暮らしを始めた	32	4.0%
経済的な余裕ができた	29	3.6%
経済的な困難が増した	100	12.5%
孫・ひ孫が生まれた	97	12.1%
配偶者が亡くなった	34	4.2%
家族や親しい親類・友人が他界した	232	28.9%
新しい友人ができた	44	5.5%
大きな病気にかかった	56	7.0%
家族の介護を始めた	42	5.2%
その他	20	2.5%
とくに変化はなかった	289	36.0%
無回答	40	5.0%
合　　計	1,107	

問12　ふだん１日に仕事をふくめて体をうごかす時間や座っている時間はどれくらいですか。

１）肉体労働や激しいスポーツをする時間

「１時間以上」の割合が39.9%と最も高く、次いで「なし」が37.9%となっています。

選択項目	人数	構成比
なし	304	37.9%
１時間未満	107	13.3%
１時間以上	320	39.9%
無回答	71	8.9%
合　　計	802	

２）座っている時間

「３～８時間未満」の割合が47.9%と最も高く、次いで「３時間未満」が35.2%となっています。

選択項目	人数	構成比
３時間未満	282	35.2%
３～８時間未満	384	47.9%
８時間以上	88	11.0%
無回答	48	6.0%
合　　計	802	

３）歩いたり立っている時間

「３時間以上」の割合が52.5%と最も高く、次いで「１～３時間未満」が27.7%となっています。

選択項目	人数	構成比
１時間未満	118	14.7%
１～３時間未満	222	27.7%
３時間以上	421	52.5%
無回答	41	5.1%
合　　計	802	

問13　あなたのご家庭についておうかがいします。

１）あなたの婚姻状態は、次のうちのどれにあてはまりますか。

「配偶者がいる（内縁を含む）」の割合が64.6%と最も高く、次いで「死別」が24.1%となっています。

選択項目	人数	構成比
配偶者がいる(内縁を含む)	518	64.6%
死別	193	24.1%
離別	24	3.0%
未婚	15	1.9%
その他	15	1.9%
無回答	37	4.6%
合　　計	802	

２）家族構成を教えてください。

「夫婦二人暮らし（配偶者65歳以上）」の割合が33.3%と最も高く、次いで「息子・娘との２世帯」が22.1%、「その他（３世帯を含む）」が16.7%となっています。

選択項目	人数	構成比
一人暮らし	112	14.0%
夫婦二人暮らし（配偶者65歳以上）	267	33.3%
夫婦二人暮らし（配偶者64歳以下）	34	4.2%
息子・娘との２世帯	177	22.1%
その他（３世帯を含む）	134	16.7%
無回答	78	9.7%
合　　計	802	

３）ご自身を含めて何人で暮らしていますか。また、同居されている方はどなたですか（すべてに○）。

略

４）３）で答えた世帯全体の合計収入額（年金を含みます）は、昨年の１年間で、次のうちどれにあてはまりますか（税引き前で）。あてはまる番号１つに○をつけてください。

「50～100万円未満」の割合が10.0%と最も高くなっています。

選択項目	人数	構成比
50万円未満	35	4.4%
50～100万円未満	80	10.0%
100～150万円未満	75	9.4%
150～200万円未満	68	8.5%
200～250万円未満	71	8.9%
250～300万円未満	67	8.4%
300～400万円未満	76	9.5%
400～500万円未満	63	7.9%
500～600万円未満	34	4.2%
600～700万円未満	17	2.1%
700～800万円未満	20	2.5%
800～900万円未満	12	1.5%
900～1,000万円未満	9	1.1%
1,000～1,200万円未満	19	2.4%
1,200万円以上	17	2.1%
無回答	139	17.3%
合　　計	802	

５）３）で答えた世帯全体の資産についてお聞きします。貯金、不動産（家、土地、マンション等）、株、ゴルフ会員権等、全ての資産の合計額であてはまる番号１つに○をつけてください。

「100～500万円未満」の割合が20.0%と最も高く、次いで「500～1,000万円未満」が15.8%、「1,000～5,000万円未満」が15.2%となっています。

選択項目	人数	構成比
50万円未満	48	6.0%
50～100万円未満	65	8.1%
100～500万円未満	160	20.0%
500～1,000万円未満	127	15.8%
1,000～5,000万円未満	122	15.2%
5,000万円以上	13	1.6%
無回答	267	33.3%
合　　計	802	

６）あなたが住んでいる住宅の種類はどれですか。

「持家（一戸建て）」の割合が88.4%と最も高くなっています。

選択項目	人数	構成比
持家（一戸建て）	709	88.4%
持家（集合住宅）	7	0.9%
公営賃貸住宅	12	1.5%
民間賃貸住宅（一戸建て）	13	1.6%
民間賃貸住宅（集合住宅）	1	0.1%
借家・借間	22	2.7%
その他	5	0.6%
無回答	33	4.1%
合　　計	802	

７）過去３年間のうち、転居された経験はありますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

「ない」の割合が92.3%と最も高くなっています。

選択項目	人数	構成比
ない	740	92.3%
同一市町村内での転居	11	1.4%
市町村外への転居	4	0.5%
無回答	47	5.9%
合　　計	802	

８）あなたの年金についてあてはまるものすべてに○をつけてください。

「国民年金」の割合が69.3%と最も高く、次いで「厚生年金」が40.4%となっています。

選択項目	人数	構成比
国民年金	556	69.3%
厚生年金	324	40.4%
共済年金	80	10.0%
企業年金	27	3.4%
個人年金（民間生命保険会社などの年金）	30	3.7%
どれも受給していない	5	0.6%
無回答	30	3.7%
合　　計	1,052	

９）あなたは現在、生活保護を受給していますか。

「受給していない」の割合が94.0%と最も高くなっています。

選択項目	人数	構成比
受給していない	754	94.0%
受給している	11	1.4%
現在申請中	0	0.0%
無回答	37	4.6%
合　　計	802	

10）現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。

「ふつう」の割合が53.1%と最も高く、次いで「やや苦しい」が23.3%、「大変苦しい」が10.8%となっています。

選択項目	人数	構成比
大変苦しい	87	10.8%
やや苦しい	187	23.3%
ふつう	426	53.1%
ややゆとりがある	46	5.7%
大変ゆとりがある	4	0.5%
無回答	52	6.5%
合　　計	802	

11）あなたが１５歳当時の生活程度は、世間一般からみて、次のどれに入ると思いますか。

「中の中」の割合が39.0%と最も高く、次いで「中の下」が29.3%、「下」が14.8%となっています。

選択項目	人数	構成比
上	12	1.5%
中の上	50	6.2%
中の中	313	39.0%
中の下	235	29.3%
下	119	14.8%
無回答	73	9.1%
合　　計	802	

問14　現在・過去の就労についておうかがいします。

１）現在のあなたの就労状態はどれですか。

「退職して現在就労していない」の割合が38.5%と最も高く、次いで「就労している」が34.2%となっています。

選択項目	人数	構成比
就労している	274	34.2%
退職して現在就労していない	309	38.5%
職に就いたことがない	72	9.0%
無回答	147	18.3%
合　　計	802	

【１）で「退職して現在就労していない」又は「職に就いたことがない」と答えた方へ】現在、仕事を探していますか。

「探していない」の割合が79.5%と最も高くなっています。

選択項目	人数	構成比
探している	15	3.9%
探していない	303	79.5%
無回答	63	16.5%
合　　計	381	

２）あなたのこれまでの仕事の中で、最も長くつとめた職種はなんですか。

「稲作や他の農作物生産」の割合が23.3%と最も高く、次いで「販売・サービス業」が13.2%、「専門・技術職」が11.1%となっています。

選択項目	人数	構成比
専門・技術職	89	11.1%
管理職	12	1.5%
事務職	61	7.6%
販売・サービス業	106	13.2%
技能・労務職	59	7.4%
酪農・畜産業	2	0.2%
稲作や他の農作物生産	187	23.3%
畜産と農作物を兼業	17	2.1%
林業	5	0.6%
漁業	1	0.1%

農林漁業以外の自営業	8	1.0%
その他	58	7.2%
職に就いたことがない	74	9.2%
無回答	123	15.3%
合　　計	802	

問15　過去１年間に次の病気にかかりましたか。あてはまるすべてに〇をつけてください。

「いずれもない」の割合が73.2%と最も高くなっています。

選択項目	人数	構成比
インフルエンザ	30	3.7%
肺炎	16	2.0%
いずれもない	587	73.2%
無回答	170	21.2%
合　　計	803	

（インフルエンザまたは肺炎と答えた方のみ）
そのとき、一度でも入院しましたか（あてはまるものすべてに〇）。

「入院しなかった」の割合が64.4%と最も高く、次いで「肺炎で入院した」が17.8%となっています。

選択項目	人数	構成比
入院しなかった	29	64.4%
インフルエンザで入院した	1	2.2%
肺炎で入院した	8	17.8%
別の病気で入院中にインフルエンザになった	1	2.2%
別の病気で入院中に肺炎になった	0	0.0%
無回答	6	13.3%
合　　計	45	

問16　ご家族の介護についておうかがいします。

１）現在あなたはご家族の介護をしていますか。

「介護をしていない」の割合が76.2%と最も高くなっています。

選択項目	人数	構成比
主に介護をしている	33	4.1%
主にではないが、介護を手伝っている	32	4.0%
介護をしていない	611	76.2%
無回答	126	15.7%
合　　計	802	

【１）で「主に介護をしている」「主にではないが、介護を手伝っている」と回答された方にうかがいます。】

２）平均的な介護頻度はどのくらいですか。

「ほぼ毎日」の割合が64.6%と最も高くなっています。

選択項目	人数	構成比
ほぼ毎日	42	64.6%
週２～４日	7	10.8%
週に1回	4	6.2%
月に１～３日以下	7	10.8%
無回答	5	7.7%
合　　計	65	

【１）で「主に介護をしている」「主にではないが、介護を手伝っている」と回答された方にうかがいます。】

３）１日の介護時間はどのくらいですか。

「必要なときに手をかす程度」の割合が58.5%と最も高く、次いで「ほとんど終日」が15.4%となっています。

選択項目	人数	構成比
ほとんど終日	10	15.4%
半日程度	6	9.2%
２～３時間程度	6	9.2%
必要なときに手をかす程度	38	58.5%
その他	3	4.6%
無回答	2	3.1%
合　　計	65	

５　在宅介護実態調査について

【調査方法】

①　調査対象　　令和元年１０月８日現在、三戸町に居住する６５歳以上の要支援・要介護認定者

②　圏域設定　　「三戸地区」、「留崎地区」、「斗川地区」、「猿辺地区」の４圏域

③　対 象 数　　４６６人

④　回収方法　　郵便回収

【回答状況】

３４０人（回答率：７３．０％）

【回答者の属性】

①　年齢別

「85～89歳」の回答者が28.8%と最も多く、次いで「90歳以上」が25.0%、「80～84歳」が22.1%となっています。

選択項目	人数	構成比
６５～６９歳	15	4.4%
７０～７４歳	21	6.2%
７５～７９歳	46	13.5%
８０～８４歳	75	22.1%
８５～８９歳	98	28.8%
９０歳以上	85	25.0%
合　　計	340	

②　性　別

「男性」の割合が30.0%、「女性」が70.0%となっています。

選択項目	人数	構成比
男性	102	30.0%
女性	238	70.0%
合　　計	340	

③　圏域別

「三戸地区」の割合が45.9%、次いで「留崎地区」が23.8%、「斗川地区」が20.9%、「猿辺地区」が8.8%となっています。

選択項目	人数	構成比
三戸地区	156	45.9%
留崎地区	81	23.8%
斗川地区	71	20.9%
猿辺地区	30	8.8%
地区不明	2	0.6%
合　　計	340	

三戸町高齢者福祉計画・第８期介護保険事業計画
（令和３年度～令和５年度）
発　行：三戸町　健康推進課　高齢者支援班
住　所：〒039-0198　青森県三戸郡三戸町大字在府小路町４３番地
連絡先：TEL：0179-20-1153　　FAX：0179-20-1105
URL：https://www.town.sannohe.aomori.jp/